

令和3年度 事業年報

はじめに

平素は、公益財団法人滋賀県健康づくり財団の事業運営に、関係各位のご支援、ご理解を賜り厚くお礼申し上げます。

私どもの財団は、昭和 55 年の財団法人滋賀県保健衛生協会としての設立以来、その事業を引き継ぎ、疾病の予防、早期発見および健康の保持増進を図るための必要な事業を行うことにより、県民の健康寿命の延伸への貢献をはじめとした県民の福祉の向上に寄与することを目的として事業を実施しております。

令和 3 年度は、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症が蔓延、拡大する状況となりましたが、関係の皆様のご協力のもと、健診 1 回当たりの受診者数の制限を続けつつ、三密対策、検査機器の消毒等を実施することで受診環境を確保し、健診事業を継続して実施することができました。この結果、受診者数は前年度よりは増加したものの、まだコロナ以前の水準までは回復しない状況です。

公益財団法人日本対がん協会の調査では、新型コロナウイルス感染症の影響でがん検診の受診者数が減少するとともに、早期がんの診断件数が減少していることが判明しており、今後、進行がんの発見が増加するのではないかと懸念されています。

当財団といたしましては、健診を受診することの重要性を啓発しながら、感染症予防対策を徹底し、安全で安心な健診を受けていただく機会を効果的に提供するとともに、結核予防、がん対策、臓器移植の推進等の諸事業に着実に取り組んでまいります。

このたび、令和 3 年度の当財団の事業の取組の概要を「事業年報」として取りまとめました。ご高覧いただきご意見を賜れば幸いです。

令和 5 年 2 月

公益財団法人滋賀県健康づくり財団

理事長 山元 雅司

目 次

はじめに

1. 健康づくりに関する知識の普及啓発、調査研究、保健医療従事者等の人材育成等を推進する事業	
(1) 普及啓発事業	1
(2) がん対策推進事業	2
(3) 複十字シール募金運動事業	5
(4) がん検診精度管理事業	7
(5) 滋賀県公衆衛生学会開催事業	9
(6) 特定健診・特定保健指導実践者育成研修事業	15
(7) 健診（検診）相談事業	16
2. 結核・がん・その他の疾病の予防および健康づくりのための健診（検診）、検査および保健指導等を推進する事業	
(1) 特定健診・施設内健診・特定保健指導事業	17
(2) 結核健診事業	25
(3) がん検診事業	29
(4) 検査事業	49
(5) 健診結果分析評価事業	53
(6) 健康づくり事業	53
3. 眼球、腎臓提供者の募集・登録、眼球幹旋などを通じ、眼や腎臓病の保健衛生の知識普及を始めとする臓器移植を推進する事業	
(1) 臓器移植コーディネーター設置および臓器移植キャンペーン事業	55
(2) アイバンク事業	57
(3) 腎臓バンク事業	58
4. 県・市町・関係団体等との連携により、地域福祉・医療等を充実・補完する事業	
(1) 療養所入所者一時帰省招待およびハンセン病啓発事業	60
(2) 母子保健関連推進事業	61
(3) 医師会健診データ電子化事業	62
5. その他財団の目的を達成するために必要な事業	
(1) 結核予防会滋賀県支部事業	64
(2) 日本対がん協会滋賀県支部事業	64
(3) 個人情報の取り扱いを適切に行う体制整備事業	65
6. 精度管理	67
7. その他の活動記録	
(1) 沿革	68
(2) 役員会の開催状況	68
(3) 年間行事	71
(4) 出席した主な会議、学会、研究会および研修会等	72
8. 組織、役員名簿	
(1) 組織	74
(2) 役員名簿	75

1. 健康づくりに関する知識の普及啓発、調査研究、保健医療従事者等の人材育成等を推進する事業

- (1) 普及啓発事業
- (2) がん対策推進事業
- (3) 複十字シール募金運動事業
- (4) がん検診精度管理事業
- (5) 滋賀県公衆衛生学会開催事業
- (6) 特定健診・特定保健指導実践者育成研修事業
- (7) 健診（検診）相談事業

1. 健康づくりに関する知識の普及啓発、調査研究、保健医療従事者等の人材育成等を推進する事業

(1) 普及啓発事業

県民一人ひとりが健康づくりの知識を深め、自分の健康は自分で守るとの理念の下、疾病の予防、早期発見に役立つ各種健診(検診)の受診率向上を図るため、強調月間等に合わせ、リーフレット等の啓発資材活用を通じ各市町、関係団体とも連携を図り、県民に対し健康づくりの普及啓発に努めた。

また、当財団が進める事業について、県民の皆さんや関係者に広く周知し、理解を得るため、財団ホームページを活用して各事業の啓発を行った。

さらに、財団の活動実績を「事業年報」としてまとめ、ホームページに掲載した。

表1 令和3年度印刷物等の配布実績

種類		数量	配布先	備考
パンフレット	対がん協会報	650	がん検診検討会各部長、県、市町関係機関等	毎月50部 増刊号50部
	結核の常識2020	3,500	県、保健所、市町、関係機関等	
	複十字誌	750	〃	年6回 125部/回
	複十字シール運動 (リーフレット)	9,823	〃	
	健康の輪	270	〃	年3回 90部/回
ポスター	がん征圧月間	75	〃	
	結核予防週間	284	〃	
	禁煙	75	〃	
	複十字シール運動	157	〃	
チラシ	乳がんのセルフチェック	3,200	〃	
	がん検診	3,200	〃	
年報	事業年報	財団ホームページ掲載	〃	

(2) がん対策推進事業

がんについての正しい知識の普及と、がん検診の受診率向上をめざし、次の事業を実施した。

①滋賀県がん対策推進運動実行委員会事業

実行委員会を組織し、がんについての正しい知識を普及し、がん検診の受診行動を起こすことを目的として、実行委員会の開催および4つのプロジェクトからなる活動を実施した。

I. 滋賀県がん対策推進運動実行委員会の開催

i 第1回実行委員会

日時 令和3年7月16日(金) 14:00 ~ 15:30
場所 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 大会議室
内容 令和3年度滋賀県がん対策推進運動事業について
子宮頸がん・乳がん検診プレゼント事業の進捗状況
啓発動画等の企画、啓発資材の活用について

ii 第2回実行委員会

日時 令和4年3月7日(月) 14:00 ~ 15:00
場所 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 大会議室
内容 令和3年度滋賀県がん対策推進運動事業実施結果について
次年度の活動の方向性について
協賛依頼団体について
啓発資材の活用について
がん検診受診啓発広告プロジェクトの広告方法について
がん検診ススめ隊プロジェクトについて (子宮頸がん・乳がん無料検診)
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインも併用して開催した。

II. がん検診受診啓発広告プロジェクト

動画や活字での啓発メッセージを発信することにより、がんについての正しい知識の普及とがん検診の受診率向上を目的として以下の活動を実施した。

・啓発テレビCMの放送

期間 令和3年9月 ~ 10月
方法 びわ湖放送 15秒テレビCM35本

※滋賀県がん対策推進運動実行委員会ホームページにも同動画掲載。

・啓発ラジオCMの放送・防災ハンドブックの広告欄掲載

期間 令和3年9月 ~ 10月
方法 エフエム滋賀 20秒ラジオCM16本

「防災ハンドブック」の広告欄にがん検診受診啓発の広告を掲載(県内全226枚の小学3年生~6年生を対象に配布、校内設置を実施。)

※滋賀県がん対策推進運動実行委員会ホームページにも同音声掲載。

・びわ湖放送 生放送番組での啓発

期間 令和3年9月10日(金) (「金曜オモロしが」の番組内)
内容 滋賀県健康づくり財団水田専務理事が出演し、がん検診受診啓発・無料子宮頸がん検診の案内を実施した。

・啓発ノベルティの作成・配布

「コロナでも 変わらぬ習慣 がん検診」のメッセージと実行委員会の名入れをしたマスクケース 6,000 個を作成し、実行委員会構成団体が実施する啓発活動にて配布した。マスクケースのイラストは滋賀県がん患者団体連絡協議会より提供いただいた。

Ⅲ. 大切な人へのお手紙プロジェクト

学習情報提供システム「におねっと」への情報掲載や、滋賀県教育委員会主催のがん教育研修会でのチラシ配布等でがん出前講座を周知し、依頼のあった学校 5 校で当財団の医師によるがん教育を実施した（参加人数 865 名）。

がん教育を受けた児童、生徒には、家族等の大人に向けてメッセージカードを記載してもらい、がん検診に関するリーフレットと一緒に、実行委員会名入れ封筒に入れて渡して頂いた。メッセージカードは 5 校に合計 865 枚配布した。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、5 校のうち 4 校はオンラインを利用して実施した。

Ⅳ. がん検診ススめ隊プロジェクト

・「がん講座」の出張セミナー

当財団の医師または管理栄養士等によるがん講座の出張セミナーを働く世代を対象に下記のテーマで 4 回実施し、うち 1 回は健康づくり事業と併せて実施した。

テーマ：働く人の健康づくり「がんのことをもっと知ろう」

(1 回目)

日時 令和 3 年 4 月 13 日(火) 13:30 ～ 14:40
場所 大津市勤労福祉センター
参加者数 メナード化粧品富士見台若葉代行店セラピスト 7 名

(2 回目)

日時 令和 3 年 8 月 25 日(水) 16:00 ～ 17:15
場所 大樹生命保険株式会社滋賀支社
参加人数 大樹生命滋賀支社社員 24 名

(3 回目)

日時 令和 3 年 11 月 5 日(金) 13:30 ～ 14:40
場所 社会福祉法人滋賀同仁会
参加人数 滋賀同仁会職員 13 名

(4 回目)

日時 令和 3 年 12 月 6 日(月) 13:30 ～ 14:40
場所 滋賀県政策研修センター(ピアザ淡海 4 階)
参加者数 県技能労務職員 15 名

・子宮頸がん・乳がん無料検診プレゼント事業

無料の子宮頸がん・乳がん検診をプレゼントし、がん検診の受診を促した。費用の一部は日本対がん協会が発行する「がん検診無料クーポン券」を活用した。

日時 令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月の検診実施日 午前 13 回
場所 滋賀県健康づくり財団健診センター
方法 チラシ配布、テレビ・ラジオCMによる宣伝、ホームページへの掲載、近

隣の保育園・幼稚園へのチラシ設置等を実施。

内容 子宮頸がん・乳がん検診、乳房セルフチェック啓発、がん関係リーフレットの配布、各市町のがん検診受診案内、がん検診に関するアンケートを実施。

対象者 滋賀県在住かつがん検診未受診者または平成30年4月以降子宮頸がん・乳がん検診を受診していない方で、子宮頸がん検診は20歳～39歳、乳がん検診は40歳～69歳の方が対象。

対象人数 子宮頸がん50名、乳がん50名

受診者数 子宮頸がん38名、乳がん50名

・びわ湖乳がん啓発ウォーク参加

乳がん患者のつどい「あけぼの滋賀」主催のウォークイベントに参加し、乳がん啓発のため、マスクケース、リーフレットなどの啓発グッズを配布した。

(1回目)

日時 令和3年10月17日(日) 12:30～14:00

場所 JR長浜駅

(2回目)

日時 令和3年11月14日(日) 12:30～14:00

場所 高島市メタセコイヤ並木

・「セルフリレーウォーク」および「リレー・フォー・ライフ・ジャパンしが2021」への参加

がん対策活動団体とともに、がんについての知識の普及やがん検診受診率向上に向けての活動を実施した。

・セルフリレーウォーク

日時 令和3年9月11日(土)～10月10日(日)

方法 スマートフォンの専用アプリで参加

内容 参加者の歩いた歩数分が日本対がん協会が運営する「がん相談ホットライン」への支援となるもの。結果として合計歩数1,586,824歩となり、24名分の支援金に繋がった。(1名あたり65,000歩)

参加者数 財団職員より12名

・リレー・フォー・ライフ・ジャパンしが2021

日時 令和3年10月16日(土)～10月25日(日)

方法 特設ホームページにて動画配信

内容 日本対がん協会啓発動画「がんのミニ知識」
子宮頸がん、乳がん無料検診のご案内動画

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインでの開催となった。

V. お知らせプロジェクト

i がん対策活動団体情報交換会の開催

滋賀県内でがん対策についての活動をしている団体同士がつながる機会が大変少ない状況であることから、お互いの活動の推進を図り、滋賀県のがん対策を推進することを

目的として、情報交換会を開催した。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインでの参加枠も設け、意見交換等を行った。

日時 令和3年9月27日(月) 14:00 ~ 16:00
場所 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 小会議室
内容 各団体の今年度の事業予定について
令和3年度滋賀県がん対策団体・民間等自主事業費補助金について
参加団体 11団体(うちオンライン参加9団体)

ii がん対策活動団体への学習会

がん対策に取り組む団体に対し、有効な情報や健康に関する知識についての学習を通して、よりよい活動の促進を図るため、あけぼの滋賀と協力して乳がん患者の集いを開催した。

・第1回 乳がん患者の集い

日時 令和3年6月3日(木) 13:00 ~ 15:00
場所 滋賀県健康づくり財団 大会議室
内容 がんの体験談等を話し合う
参加者数 10名

・第2回 乳がん患者の集い

日時 令和4年3月3日(木) 13:00 ~ 15:00
場所 滋賀県健康づくり財団 大会議室
内容 がんの体験談等を話し合う
参加者数 6名

iii がんについての情報提供

・滋賀県がん対策推進運動実行委員会ホームページの運営

啓発動画の掲載の他、構成団体や県内がん対策活動団体の活動を随時掲載するとともに、がん検診に関する各種リーフレットを更新し、ホームページへ掲載した。

また、がんやがん検診についての知識を深めていただけるよう、水田専務理事のがん教育講演を撮影したDVDを作成し、中学校1校でがん教育として視聴していただいた。

加えて、施設内健診の受診者向けに動画を流し、受診中に視聴いただいた。

ホームページ <https://kenkou-shiga.securesite.jp/gantaisaku/>

・リーフレットの配布

がん検診を受ける際に必要な情報を掲載したリーフレットをがん教育として実施した「大切な人へのお手紙プロジェクト」で配布した。865部(5校)

また施設内健診受診者に、がんに関するリーフレットを配布した。(1,319部)

(3) 複十字シール募金運動事業

この運動は、結核・肺がん・COPD(慢性閉塞性肺疾患)などの呼吸器疾患をなくすために世界80か国以上で行っている活動で、100年を超える歴史を持つ由緒ある運動である。結核をなくして健康で明るい社会をつくるために、結核予防にかかる啓発、研究、健診、検査などを行

うための資金造成を図ることを目的として、厚生労働省、文部科学省、公益社団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会の後援を得て、全国的に8月1日から12月31日の期間を中心に実施している。

この運動で募金された資金は、調査研究費、普及啓発費、事業助成費、国際協力費等に使われている。

募金額 122件 879,820円

①結核予防啓発活動

例年は、9月の結核予防週間の前に、駅やショッピングモールで「結核予防週間」・「複十字シール運動」ののぼり旗を掲出し、啓発資材の配布や複十字シール運動募金の呼びかけを実施していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、街頭啓発を中止し、中條滋賀県副知事への表敬訪問とFMラジオのCMによる結核予防啓発および複十字シール運動募金の呼びかけを結核予防週間に実施した。

I. 中條滋賀県副知事への表敬訪問

日時 令和3年8月2日(月) 10:13 ~ 10:39
場所 滋賀県庁 副知事室
内容 結核の現状報告、複十字シール運動募金開始に係る協力依頼、滋賀県地域女性団体連合会の活動報告、記念撮影
訪問者 滋賀県地域女性団体連合会長・副会長3名
財団役職員3名

II. FMラジオCMでの啓発

i FMおおつでの放送

日時 令和3年8月1日(日) ~ 9月30日(木)
※1日につき4~5回の放送
内容 結核予防の啓発と複十字シール運動募金の周知、また結核予防週間に関する20秒CMの実施。
視聴者 主に大津市内の住民

ii エフエム滋賀での放送

日時 (1回目)令和3年9月23日(木) 9:50~
(2回目)令和3年9月24日(金) 14:30~
(3回目)令和3年9月25日(土) 15:55~
※各回1分間のCM
放送局 株式会社エフエム滋賀
内容 ラジオパーソナリティが1分間語り口調で、結核予防の啓発と結核予防週間の周知、また複十字シール運動募金の呼びかけを実施した。
視聴者数 延べ114,200人(3回CM合計)(株式会社エフエム滋賀調べ)

②結核予防事業協賛秩父宮妃記念杯における啓発活動

日時 令和4年3月15日(火) 13:00 ~ 16:00
場所 びわこ競艇場
内容 結核予防事業協賛によるレースの開催期間中にあわせた結核予防の啓発と複十字シール運動募金活動の実施。

③募金実績額

表 1 募金実績額の推移

(円)

	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 (令和元)年度	令和 2 年度	令和 3 年度
募金実績額	1, 149, 183	997, 610	1, 022, 130	859, 668	879, 820

表 2 令和 3 年度 募金依頼先別募金実績額

募金資材	募金依頼先	令和 3 年度	
		資材数	実績額
封筒セット (部)	各市町	3, 550	320, 638
	滋賀県	800	115, 600
	滋賀県地域女性団体連合会	1, 000	104, 600
	その他	41	10, 000
	小計	5, 391	550, 838
大型シール (枚)	郵送募金 (個人, 会館等)	278	243, 940
	組織募金 (医師会)	910	35, 000
	組織募金 (歯科医師会)	550	18, 000
	小計	1, 738	296, 940
小型シール (枚)	組織募金 (薬剤師会)	1, 300	22, 000
	その他 (街頭募金等)	10	10, 042
	小計	1, 310	32, 042
合計			879, 820

(4) がん検診精度管理事業

県民の健康を保持し、がんの早期発見に努めるため、精度の高い検診の実施を目的とした精度管理を行うとともに、検診従事者の育成および資質の向上をはかることにより、県民が安心してがん検診を受けられるよう体制整備を図った。

事業内容は、次の各号に挙げるものとし、平成 20 年 3 月 31 日付け健総発 0331012 号厚生労働省健康局総務課長通知「健康診査管理指導等事業実施のための指針」に基づき実施した。

なお、マンモグラフィ読影の資質向上のための「乳がん検診マンモグラフィ読影研修会」については中止した。

①がん検診検討会

がん検診検討会の中に、胃がん部会・子宮頸がん部会・乳がん部会・大腸がん部会・肺がん部会の 5 部会を設置し、各部会の他、5 部会の部会長および保健所長との部会長会議を開催した。

I. 部会長会議

日時 令和 3 年 8 月 3 日 (火) 17:00 ~ 18:15

場所 滋賀県庁本館 4 A 会議室 (オンライン開催)

参加者数 部会長：5 名 保健所長：5 名

II. 胃がん部会

日時 令和3年11月9日(火) 17:00 ~ 18:35
場所 滋賀県健康づくり財団 小会議室(オンライン開催)
参加者数 委員9名(委任状2名)、オブザーバー3名、傍聴者29名

III. 乳がん部会

日時 令和3年11月18日(木) 17:00 ~ 19:20
場所 滋賀県健康づくり財団 小会議室(オンライン開催)
参加者数 委員11名(委任状1名)、オブザーバー3名、傍聴者29名

IV. 子宮頸がん部会

日時 令和3年12月1日(水) 17:30 ~ 18:20
場所 滋賀県健康づくり財団 小会議室(オンライン開催)
参加者数 委員11名、オブザーバー2名、傍聴者25名

V. 肺がん部会

日時 令和3年12月16日(木) 15:00 ~ 16:00
場所 滋賀県健康づくり財団 小会議室(オンライン開催)
参加者数 委員11名、オブザーバー3名、傍聴者25名

VI. 大腸がん部会

日時 令和4年1月26日(水) 17:30 ~ 18:30
場所 滋賀県健康づくり財団 小会議室(オンライン開催)
参加者数 委員7名(委任状2名)、オブザーバー2名、傍聴者23名

②がん検診従事者講習会

がん検診従事者講習会は、次の内容で実施した。

I. 第1回肺がん検診従事者講習会

日時 令和3年12月12日(日) 10:30 ~ 11:30
場所 滋賀県健康づくり財団 大会議室(オンライン開催)
内容 講演 「新型コロナ肺炎の画像」
講師 近江八幡市立総合医療センター 放射線科
部長 松尾寿保 氏
講演 「読影講座」
講師 滋賀医科大学 放射線医学講座
准教授 岡田明永 氏

参加者数 105名

II. 子宮頸がん検診従事者講習会

日時 令和4年1月15日(土) 14:30 ~ 15:40
場所 滋賀県健康づくり財団 小会議室(オンライン開催)
内容 講演 「令和2年度滋賀県子宮頸がん検診実施状況」
講師 滋賀県精度管理事業がん検診検討会子宮頸がん部会
部会長 高橋健太郎 氏
講演 「従来法とLBC法における子宮内膜細胞像の比較」
講師 大阪府済生会野江病院 病理診断科 小椋聖子 氏

参加者数 20名

Ⅲ. 消化器(胃)がん検診従事者講習会

日時 令和4年2月19日(土) 9:00 ~ 11:15

場所 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 小会議室(ハイブリッド開催)

内容 症例検討①

「胃X線検診で発見された胃がん症例検討」

講師 公立甲賀病院 放射線科 部長 山崎道夫 氏

症例検討②

「対策型内視鏡検診において発見された胃がん症例検討」

講師 滋賀県立総合病院 消化器内科 科長 松村和宜 氏

参加人数 61名

Ⅳ. 乳がん検診従事者講習会

日時 令和4年2月19日(土) 13:30 ~ 14:50

場所 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 小会議室(オンライン開催)

内容 講演 「最近の話題～プレストアウェアネスとコロナワクチン接種後のリンパ節腫大について」

講師 滋賀医科大学地域医療教育研究拠点 准教授 医学博士

地域医療機能推進機構 滋賀病院 乳腺センター

乳腺外科部長 梅田朋子 氏

参加者数 46名

Ⅴ. 第2回肺がん検診従事者講習会

日時 令和4年3月6日(日) 10:00 ~ 11:15

場所 滋賀県健康づくり財団 小会議室(オンライン開催)

内容 症例検討「肺がん検診で発見された症例に対する検討」

講師 滋賀県がん検診検討会肺がん部会 部会長 高橋雅士 氏

参加者数 60名

③乳がん検診マンモグラフィ読影研修会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止

(5) 滋賀県公衆衛生学会開催事業

本県の公衆衛生に関係する多くの者が一堂に集い、日常業務を通じた調査研究活動から得られた成果を発表することにより、相互に研さんと理解を深め、本県の公衆衛生の向上に資するため、第52回滋賀県公衆衛生学会を令和4年2月16日に開催した。

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインでの開催とし、発表は、新型コロナウイルス感染症に関する演題に限定して実施するとともに、学会の動画を財団ホームページに掲載した。また、その他の演題については財団ホームページの要旨集に掲載するのみとした。

日時 令和4年2月16日(水) 14:00 ~ 16:15

場所 【総合司会・事務局】滋賀県健康づくり財団

【滋賀県知事表彰・特別講演】滋賀県庁

【座長】長浜保健所

【発表会場】各発表者の勤務先等

研究発表 8 演題(要旨集紙上掲載 26 演題)

特別講演 「滋賀県 COVID-19 災害コントロールセンターの 2 年」

講師 滋賀県 COVID-19 災害コントロールセンター
医療コントロール部 参与 松原峰生 氏

参加者数 37 名

学会動画掲載 財団ホームページ(滋賀県公衆衛生学会のページ)

掲載期間：令和 4 年 3 月 1 日(火) ～ 3 月 31 日(木)

視聴回数：110 回

表 1 第 52 回滋賀県公衆衛生学会演題発表一覧

○オンライン発表

演題番号	演題分類	演題名	所属名
1	感染症	「新型コロナウイルス感染症の発生時対応について」 ～感染拡大期における業務体制についての振り返り～	大津市保健所 保健予防課
2	臨床検査	滋賀県内の医療施設における新型コロナウイルス検査体制の現状と課題	滋賀県臨床検査技師会
3	感染症	新型コロナウイルス感染症自宅療養者支援から考えた保健師の役割—自宅療養者の命を守るための「自宅療養班」体制構築の振り返りから—	南部健康福祉事務所(草津保健所)
4	高齢者保健福祉	新型コロナウイルス感染症下における通いの場参加者への影響と今後の活動の方向性に関する一考察	守山市地域包括支援センター
5	感染症	第 6 波に向けた自宅療養体制のあり方についての一考察 ～COVID-19 感染(第 5 波) 自宅療養者の健康観察業務の振り返りから～	湖東健康福祉事務所(彦根保健所)
6	感染症	COVID-19 重点医療機関における行政との連携	長浜赤十字病院
7	高齢者保健福祉	介護保険施設・事業所に対する新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策の取り組みについて	高島健康福祉事務所(高島保健所)
8	地域保健・福祉	見え難くなったコロナ禍の多職種協働を可視化する	医療生協こうせい駅前診療所

○紙上発表

演題番号	演題分類	演題名	所属名
9	地域保健・福祉	大津市在宅医療整備における訪問看護ステーション体制強化事業の成果	大津市保健所地域医療政策課
10	地域保健・福祉	地域と共にコロナ禍での産後の孤立を防ぐ地区担当保健師の役割	湖南市健康福祉部健康政策課

11	学校保健	大学生の考える「現在の育児環境問題と必要な対策」の分析～プレコンセプションケアに向けた若者の意識探索～	一般社団法人滋賀県助産師会
12	母子保健	”子ども発達相談センターにおける保護者支援について ～保護者学習会の実践報告～”	大津市保健所子ども発達相談センター
13	母子保健	乳幼児期の子がいて外出しにくい母が求める育児環境とその実現についての一考察	近江八幡市子ども健康部健康推進課
14	精神保健福祉	ひきこもり相談における家族支援の考察～ひきこもり家族交流会を通してみてきたこと～	甲賀健康福祉事務所（甲賀保健所）
15	歯科保健	東近江市の妊娠期における歯科保健に関する認識の現状	東近江市健康推進課
16	感染症	外国人結核患者が治療時に抱える課題と今後の支援策の検討	東近江健康福祉事務所（東近江保健所）
17	感染症	新型コロナウイルスワクチン集団接種会場における体調不良者の考察	湖南市新型コロナウイルスワクチン接種対策室
18	成人保健	湖南市糖尿病性腎症重症化予防プログラム事業における保健指導について～Long term eGFR plotを用いた保健指導の実施報告～	湖南市健康福祉部健康政策課
19	臨床検査	臨床検査における細胞検査の精度管理について	滋賀県臨床検査技師会
20	環境保健	滋賀県における大気環境の現状について	滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
21	環境保健	滋賀県下の酸性雨について	滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
22	環境保健	ATP ふきとり検査による調剤薬局内の細菌汚染状況の報告	ジップドラッグ唐崎薬局
23	食品衛生	コロナ禍におけるオンライン等を活用した食の安全・安心に係るリスクコミュニケーションについて	大津市保健所衛生課
24	食品衛生	農産物中の農薬（クロロタロニル、キャプタンおよびジクロフルアニド）の一斉簡易分析法の検討	株式会社日吉
25	健康教育・健康づくり	新型コロナウイルス感染症まん延時における健康教育・健康相談の取り組み報告	大津市保健所健康推進課
26	難病	難病患者の災害に対する意識調査～指定難病申請時調査より～（第2報）	大津市保健所保健予防課
27	難病	災害対策における医療依存度の高い難病患者への自助・共助を強化するための課題	南部健康福祉事務所（草津保健所）
28	栄養	フレイルチェック表による健康教室の効果について	滋賀県栄養士会

29	高齢者保健福祉	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業における取り組み～口腔機能低下予防事業について～	大津市長寿政策課地域包括ケア推進室
30	高齢者保健福祉	コロナ禍における高齢者の実態について～市民へのアンケート調査から～	大津市長寿政策課地域包括ケア推進室
31	高齢者保健福祉	甲賀市のコロナ禍における100歳体操の再開支援に向けての現状と課題～地域の実施状況調査を通じて～	甲賀市役所
32	高齢者保健福祉	後期高齢者の自動車運転と足の衰えの自覚・運動習慣の実態調査より考察 高齢者の自動車運転への予防的支援を考える 1報	甲賀市役所
33	高齢者保健福祉	運転免許自主返納に関する半構造化インタビューより考察 高齢者の自動車運転への予防的支援を考える 2報	甲賀市役所
34	その他	大津市医療安全支援センターにおける医療相談の現状	大津市保健所

表2 第52回滋賀県公衆衛生学会演題分類別演題一覧

演題分類	演題数	演題分類	演題数
母子保健	2	食品衛生	2
歯科保健	1	環境保健	3
高齢者保健福祉	7	健康教育・健康づくり	1
感染症	6	成人保健	1
臨床検査	2	精神保健福祉	1
地域保健・福祉	3	学校保健	1
難病	2	栄養	1
その他	1		
合計			34

①公衆衛生事業功労者表彰

多年にわたり公衆衛生事業に取り組み、地域住民の保健衛生活動や保健衛生知識の普及活動等に尽力され、健康づくりに多大な功労のあった個人と団体を滋賀県公衆衛生学会において表彰した。

受賞者 知事表彰 (個人) 梅村通子 氏 ほか6名
(団体) 一般社団法人湖北薬剤師会
理事長表彰 (個人) 宇於崎孝 氏 ほか9名
(団体) 一般社団法人甲賀湖南薬剤師会 ほか1団体

表3 令和3年度公衆衛生事業功労者受賞者一覧（知事表彰）

（個人）

（敬称省略・五十音順）

氏名	職種	表彰事由
梅村通子	健康推進員	永年にわたり、地域の健康づくりのリーダーとして、市民の食生活改善に積極的に取り組み、健康意識の向上に寄与した。市会長・県理事・県監事として会の組織強化や運営に尽力し、関係機関や関係団体等と連携を密にし、常に会の充実に努めた。現在も地域と行政のパイプ役として、地域に根付いた健康推進員活動を実践し、後輩の育成や指導に取り組んでいる。
田村雅裕	柔道整復師	昭和56年に「タムラ整骨院」を開業して以来40有余年の永きにわたり健康保持増進と疾病予防、健康寿命の延伸に尽力し、地域住民から厚い信頼を得ている。滋賀県柔道整復師会の理事・事業部長として救護・トレーナー活動を監督指揮した。「滋賀県知事杯争奪滋賀県小学生柔道大会」において、役員を退いた後も要職を務め、柔道を通じて青少年の健全育成に尽力している。
文村俊治	歯科医師	昭和58年12月から文村歯科医院開設以来今日まで歯科医業に専念し、地域歯科医療の発展及び公衆衛生事業の推進に努めた。この間、滋賀県歯科医師会理事、同彦根支部理事・副支部長、支部長等多くの要職に就き公衆衛生事業の推進に尽力するとともに県民の健康な歯の保持増進及び歯科保健水準の向上並びに口腔衛生思想の普及啓発に貢献した。
山本伸子	歯科衛生士	永年にわたり病院に勤務し、歯科保健衛生に専念するとともに地域住民の歯科保健水準向上のため貢献した。県内の病院に勤務する歯科衛生士の勉強会を企画・開催し、全体のレベルアップに貢献するとともに、歯科のない病院での口腔衛生活動の充実を図るために尽力している。滋賀県歯科衛生士会役員として、口腔衛生啓発事業を企画、参画し、広く公衆衛生事業の推進に尽力し、県民の歯科水準の向上・歯科保健知識の普及啓発に貢献した。
木築野百合	医師	永年にわたり勤務医・開業医として地域住民の疾病予防と健康管理に尽力してきた。かかりつけ医としての業績はもとより、外科医の立場から検視を行う検案医としても活躍し地元警察からの信頼も厚い。平成27年から滋賀県医師会の理事に就任し、女性医師支援活動や滋賀県医師会母体保護審査委員会委員、滋賀県医師会警察協力医検討委員会委員として医師会事業を通して地域医療・福祉の向上に貢献している。
平尾勝代	保健師	永年にわたり常に公衆衛生看護の視点を大切にし、保健師活動を展開してきた。甲賀市では生活圏域ごとに地域包括支援センターを立ち上げ、在宅医療の部署においては多職種連携の大元の地域リハビリテーションに尽力し、福祉医療政策課地域医療推進室長としては在宅医療・介護連携等地域共生社会に向けての取り組みに貢献した。また、滋賀県市町保健師協議会の会長として、コロナ禍の市町保健師の活動を記録に残す検討を行った。
平岩康之	理学療法士	県内で理学療法士が非常に少ない時代から、地域でのリハビリテーションの必要性を唱え実践された。また、関節リウマチや内部障害のリハビリテーションをとおして、今日の近代的な理学療法士の普及に努め公衆衛生に貢献された。また、作業療法士、言語聴覚士の各団体と協力して地域包括ケアに貢献できる人材育成の体制づくりや理学療法士の教育体制の整備に貢献された。

（団体）

団体名	表彰事由
一般社団法人湖北薬剤師会	長浜米原休日急患診療所を受診した救急患者の調剤と服薬指導を行っている。また、多職種研修会・在宅カフェ・出前講座等などの長浜米原地域医療支援センター事業を通じて、医薬品の適正使用や薬事衛生に関する講演を実施している。その他、健康フェスティバル等の地域活動に積極的に参加、また、「薬剤師による健康サポートフェア2021」を開催し、地域住民の公衆衛生の意識向上に寄与した。

表 4 令和3年度公衆衛生事業功労者受賞者一覧（公益財団法人滋賀県健康づくり財団理事長表彰）

（個人）

（敬称省略・五十音順）

氏名	職種	表彰事由
宇於崎孝	理学療法士	滋賀県理学療法士会において、平成16年に研修部長就任以来、理事、副会長を歴任され、最年少での理事就任後、常に士会の中心的役職を熱心に取り組まれている。また、高校生へのスポーツ障がい予防に積極的な支援を行い、コンディショニング指導にも尽力されるとともに、側弯症患者のための新しい運動療法も本邦に導入され、積極的な指導および普及活動にも貢献されている。学術的には、運動器疾患、スポーツ障害領域や理学療法士の需給調査に関連する内容まで幅広く研究され、若い理学療法士の模範となっております。
川瀬英嗣	歯科医師	昭和62年3月から西川歯科医院に勤務以来、今日まで歯科医業に専念し、地域歯科医療の発展及び公衆衛生事業の推進に努められた。またこの間、滋賀県歯科医師会理事・常務理事・専務理事・副会長・会長等多くの実務に就き公衆衛生事業の推進に尽力するとともに県民の健康な歯の保持増進及び歯科保健水準の向上・口腔衛生思想の普及啓発に貢献された。
川戸典知	柔道整復師	28有余年にわたり、柔道整復師の施術治療を基本に、超音波画像観察装置を早くから導入し、機能回復訓練指導も含めて、地域住民の健康保持増進と疾病予防、健康寿命の延伸に尽力されている。また、県及び地域主催で開催される健康づくり関連の催事等に参画し、地域住民の健康保持増進に努めるとともに、各種スポーツ競技大会等における救護トレーナーのボランティア活動等、公衆衛生事業にも貢献されている。また、日本柔道整復師会近畿ブロック会の超音波小委員会の委員長も兼任し、超音波画像観察装置の普及に努めている。
木田哲生	診療放射線技師	入職以来、地域の重要な医療機関である滋賀医科大学医学部附属病院に勤務し、現在は放射線部門を統括し、患者さんの健康回復に向けた高度で適時かつ効率的な診療の提供の一端を30年以上に亘り担っておられる。また、学術活動を通して得た知見や技術を地域および全国的な学会等で活躍されるとともに、自職場や地域の職能団体や研究会や必要な人材の公衆衛生事業への参画・人員の派遣を通じて地域医療の発展と公衆衛生の推進に貢献された。
北村友利子	臨床検査技師	入職以来、地方独立行政法人公立甲賀病院臨床検査課（旧 公立甲賀病院 中央検査科）に勤務し、検体検査部門にて検査技術や精度管理の向上に努め、一般部門では、一般検査技術の向上や後進育成に尽力されている。また、公益社団法人滋賀県臨床検査技師会において平成26年6月から理事に就任し、公益法人の適正な運営に尽力されるとともに、県民向けの公開講座、検査展など多くの公益活動にも参画し、県民の健康保持・増進や公衆衛生の発展に貢献された。
近藤雅典	医師	平成元年より県内にて小児科医として勤務され、現在は、アレルギー疾患、小児循環器疾患を専門としたこども小児科にて地域医療に貢献されている。また、「心臓検診検討会」に平成13年より委員として携わり、県内の児童生徒の心疾患の早期発見および心臓検診の向上に尽力されている。加えて要精密検査となった子どもに対し、精密検査を実施するとともに、その結果に基づき、適切な管理区分を決定し、管理指導表の作成をされるなど、県内の心臓精密検査の精度向上にも寄与されている。
立木ひろみ	保健師	長年にわたり、保健師として母子保健や成人保健、地域住民の健康づくり活動に尽力され、特に対象者への家庭訪問を大切に活動を行い、一人一人の健康問題の解決に取り組まれた。また、家庭訪問で把握した健康課題に取り組むため、住民の本音と向き合い、市民と共に考えることができる地域組織の立ち上げや、既存の組織との連携を模索しながら地域活動を実践された。さらに長年の公衆衛生活動に従事した保健師としての知識や経験を踏まえ、後進への指導にも尽力された。
堀出直樹	医師	永年にわたり病院勤務医また開業医として、地域住民の疾病予防と健康管理に努めるとともに、守山野洲医師会では、理事、副会長、会長を歴任され、高齢化社会における在宅医療の推進や救急医療体制の構築、地域の医療資源を有効活用した医療と介護の連携体制づくり等に尽力され、保健、医療、福祉の充実に大きく貢献された。
山下久美	歯科衛生士	永年に渡り歯科医院に勤務し、歯科医療に携わりながら公衆衛生事業の推進に努め、母子成人歯科保健事業に積極的に参加し、地域住民の歯科保健の水準の向上に取り組まれた。また滋賀県歯科衛生士会が行う口腔衛生活動を通して、広く公衆衛生事業の推進や歯科保健知識の普及啓発に貢献された。加えて、滋賀県歯科衛生士会の役員として公衆衛生事業の参画、推進に尽力し、県民の歯科水準の向上・口腔保健知識の普及啓発に貢献されるとともに、会の運営や後輩の育成に努められた。
山田幸枝	健康推進員	永年にわたり、地域の健康づくりのリーダーとして、町民の食生活改善をはじめ健康づくり活動に積極的に取り組み、町民の健康意識の向上に寄与した。また、平成28年度から令和元年度には健康推進員団体連絡協議会の副会長として、世代に応じた健康づくりの啓発等に尽力された。現在も、地区リーダーとして地域の健康推進員と共に各種事業に参画し、健康づくりの啓発にかかるノウハウを伝えるなど後輩の育成や指導にも取り組み、地域に根付いた健康増進員活動を牽引されている。

(団体)

団体名	事業継続年数	代表者名	表彰事由
一般社団法人甲賀 湖南薬剤師会	45年	会長 渡邊真樹	「休日夜間おくすり相談事業」において、服薬指導に加え、症状悪化時の副作用への対処や、受診勧奨の判断、助言を行い、担当する医療従事者が即時に対応できない際のセーフティネットの役割を担っておられる。また、かかりつけ薬剤師を持たない県民に対し、気軽に相談できる窓口があることで、セルフメディケーションの推進に貢献されている。また、甲賀市フレイル予防対策事業に参画し、「お薬座談会」、「薬剤師訪問指導」等を実施するとともに、平成25年からは、湖南市健康まつりに「お薬相談コーナー」を出展し、医薬品の正しい使い方やセルフメディケーションなどの啓発を行い、地域住民の公衆衛生の意識向上に貢献された。
米原市 健康推進員会	17年	会長 有賀尚子	地域の健康課題や課題解決のための栄養や運動等の研修や調理実習を行い、学習した内容を生かして、地域での健康づくり活動を実施されている。また自治会での減塩やバランス食を意識した伝達料理教室、健診受診勧奨、子育て支援センターや小中学校と連携した食育活動等も実施している。コロナ禍においては、集団での講習会・調理実習が難しいため、推進員考案のお勧めメニューや伝統食メニューを資料化し、内容に合わせて、対象の家庭に配布するなど啓発に力を入れ、子どもから高齢者まであらゆる世代を対象とし、健康づくりに貢献された。

※事業継続年数は、R4.2.16 現在

(6) 特定健診・特定保健指導実践者育成研修事業

生活習慣病予防のための行動変容に確実につながる保健指導を展開することができるよう「標準的な健診・保健指導プログラム」をふまえた保健指導を効果的に推進できる人材を養成することを目的とし、研修を実施した。

また、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、感染拡大防止対策を実施の上、基礎編・応用編を4日間実施し、修了者全員に修了証を発行した。

【1日目】

日時	令和3年7月29日(木)
基礎編	10:00 ~ 12:30
基礎編・応用編共通	13:30 ~ 17:00
場所	iMEP ニプロ
参加者数	基礎編 58人(会場12人、オンライン46人)
	基礎編・応用編共通 72人(会場17人、オンライン55人)

【2日目】

日時	令和3年8月18日(水) 基礎編 10:00 ~ 16:40
場所	iMEP ニプロ
参加者数	54人(会場12人、オンライン42人)

【3日目】

日時	令和3年9月2日(木) 応用編 10:00 ~ 16:00
場所	iMEP ニプロ
参加者数	22人(会場3人、オンライン19人)

【4日目】

日時	令和3年9月14日(火)
基礎編・応用編共通	10:00 ~ 12:00
基礎編	13:00 ~ 16:00

場所 iMEP ニプロ
参加者数 基礎編・応用編共通 64人(全員オンライン)
基礎編 51人(全員オンライン)

- ・ 4日間を通じての実参加者数
74人(基礎編:保健師25人、看護師3人、栄養管理士24人)
(応用編:保健師7人、看護師2人、栄養管理士13人)
- ・ 修了者数
59名(保健師28名、管理栄養士26名、看護師5名)

(7) 健診(検診)相談事業

健診(検診)の受診等に関する疑問や相談、さらには検査結果等を踏まえた対応など受診者の適切な判断や不安等の解消のため、コメディカルスタッフが受診者に分かりやすく説明する相談窓口を設置し、電話対応を行った。

電話番号 077-536-5218 (平日 9:00~17:00)
電話対応件数 33件
内訳

健診(検診)の受診に関すること	4件
健診(検診)受診の結果に関すること	26件
健診(検診)受診後の症状に関すること	1件
治療に関すること	1件
予防接種に関すること	1件

2. 結核・がん・その他の疾病の予防および健康づくりのための健診（検診）、検査および保健指導等を推進する事業

(1) 特定健診・特定保健指導事業

(2) 結核健診事業

(3) がん検診事業

(4) 検査事業

(5) 健診結果分析評価事業

(6) 健康づくり事業

2. 結核・がん・その他の疾病の予防および健康づくりのための健診（検診）、検査および保健指導等を推進する事業

(1) 特定健診・施設内健診・特定保健指導事業

県民の疾病予防と健康づくりのため、巡回健診や特定健診を市町・保険組合や保険者の依頼に応じて実施した。

また、特定健診結果から生活習慣病（特に内臓脂肪症候群）のリスクが高く、生活習慣の改善により高い予防効果が期待できる受診者に対して、動機づけ支援や積極的支援などの保健指導を通じ、生活習慣を見直すサポートを実施した。

①一般健診事業

健康増進法、健康保険法、国民健康保険法、高齢者医療確保法、感染症法、学校保健安全法、労働安全衛生法、共済組合法等に基づき、市町や事業所が実施する健診を受託し、県民の疾病の発見、予防に資する保健サービスを提供した。

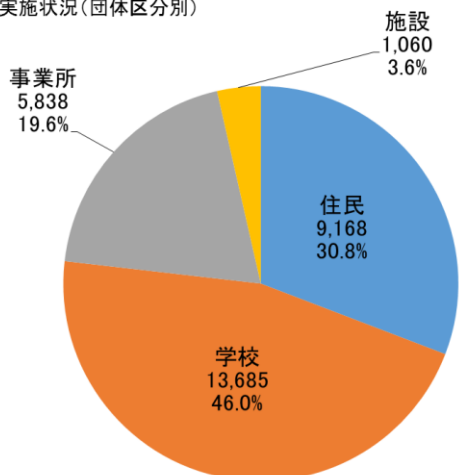
令和3年度一般健診実績者数は30,335人であり、前年度実績者数と比べ3,643人の増であった。

また、そのうち特定健診受診者が7,984人、後期高齢者健診受診者が307人であった。（但し、肝炎検査単独・生活機能評価単独受診者を除く）

表1 一般健診実績表（特定検診・定期検診等含む）実施状況（団体別）
※肝炎検査単独・生活機能評価単独受診者数除く

団体区分	一般健診		特定健診（再掲）		後期高齢（再掲）	
	団体数	実施人数	団体数	実施人数	団体数	実施人数
住 民	10	9,168	8	6,877	2	307
学 校	141	13,685	0	0	0	0
事 業 所	194	5,838	2	1,107	0	0
施 設	20	1,060	0	0	0	0
合 計	365	29,751	10	7,984	2	307

図1 一般健診（特定健診・定期健診等含む）
実施状況（団体区分別）

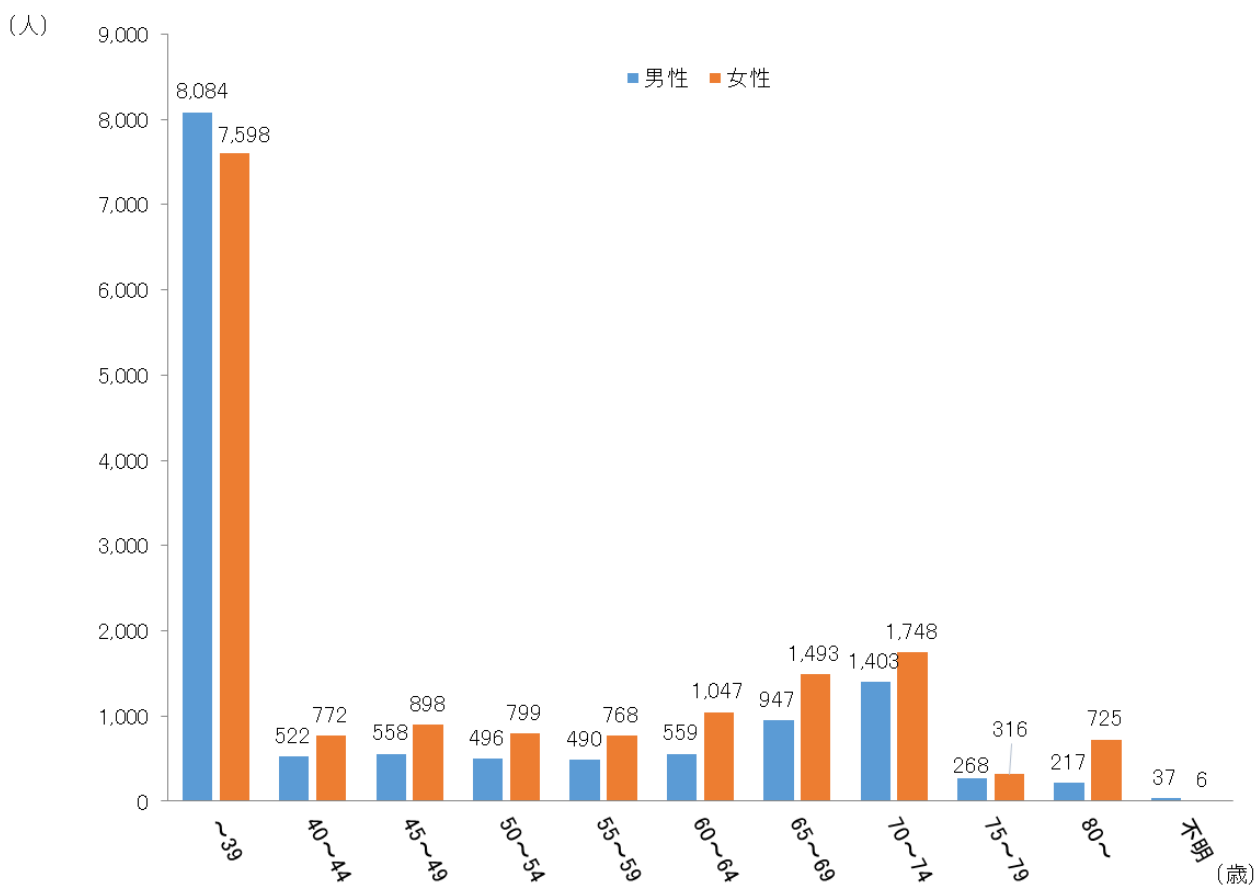


365団体29,751人に実施。うち、特定健診は10団体7,984人、後期高齢は2団体307人であった。

表2 一般健診（特定健診・定期健診等含む）実施状況（性別・年齢別）
 ※肝炎検査単独・生活機能評価単独受診者、年齢性別不明を除く

(人)												
性別	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	不明	合計
男性	8,084	522	558	496	490	559	947	1,403	268	217	37	13,581
女性	7,598	772	898	799	768	1,047	1,493	1,748	316	725	6	16,170
合計	15,682	1,294	1,456	1,295	1,258	1,606	2,440	3,151	584	942	43	29,751

図2 一般健診（特定健診・定期健診等含む）実施状況（性別・年齢別）



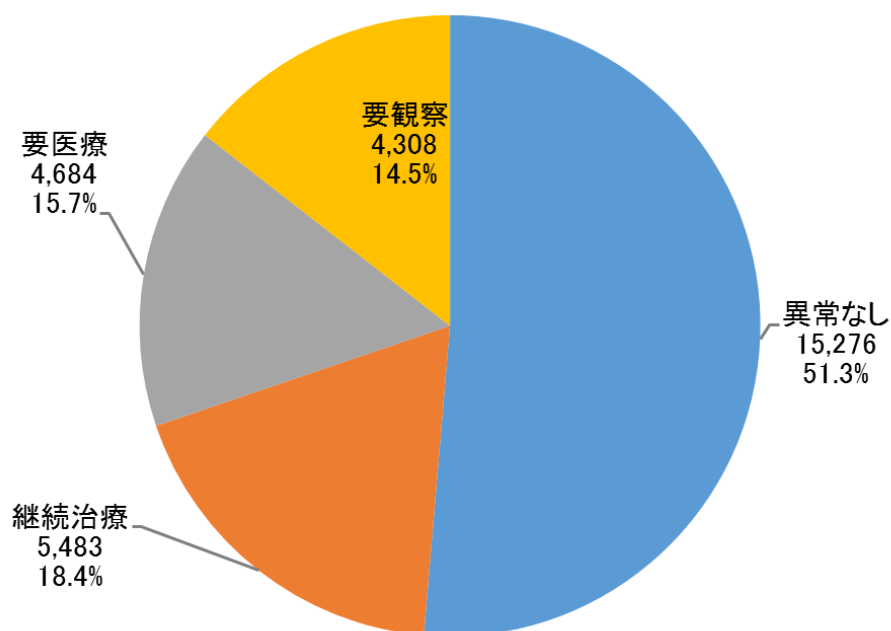
性別では女性が男性より多く、年齢別では男女ともに39歳以下、70～74歳、65～69歳の順に多かった

表3 一般健診実績表(特定健診・後期高齢・定期健診等含む)実施状況(団体・指導区分別)
 ※肝炎検査単独・生活機能評価単独受診者、指導区分不明を除く

(人)

市町名、事業所名		受診者数	指導区分			
			異常なし	継続治療	要医療	要観察
市町		9,168	1,321	3,598	2,541	1,708
	日野町	641	45	239	180	177
	竜王町	469	104	166	99	100
	彦根市	1,387	149	564	391	283
	豊郷町	437	64	184	126	63
	甲良町	570	98	250	158	64
	多賀町	187	26	83	45	33
	東近江市	3,209	492	1,235	943	539
	米原市	2,268	343	877	599	449
事業所等		20,583	13,955	1,885	2,143	2,600
総数		29,751	15,276	5,483	4,684	4,308

図3 一般健診(特定健診・定期健診等含む)実施状況(指導区分別)



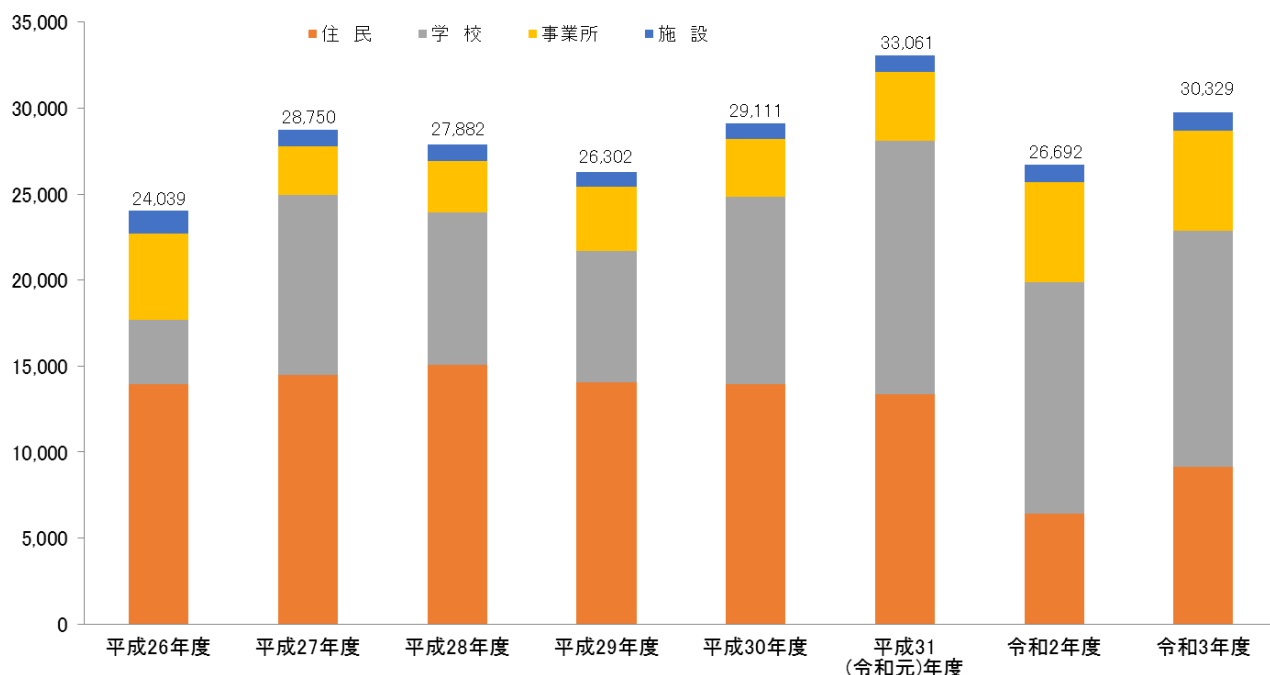
受診総数 29,751 人のうち、要医療(要受診)と要観察で約3割を占めている。

表4 一般健診実施状況の経年比較

団体区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31(令和元)年度		令和2年度		令和3年度	
	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数
住 民	13,956	8	14,487	10	15,093	9	14,077	12	13,926	10	13,370	11	6,402	9	9,168	10
学 校	3,739	5	10,475	26	8,837	26	7,636	28	10,934	83	14,752	118	13,457	130	13,685	141
事 業 所	5,017	102	2,808	93	2,996	97	3,708	111	3,332	86	4,005	120	5,831	172	5,838	194
施 設	1,327	20	980	16	956	16	881	15	919	16	934	16	1,002	18	1,060	20
合 計	24,039	135	28,750	145	27,882	148	26,302	166	29,111	195	33,061	265	26,692	329	29,751	365

図4 一般健診実施状況の経年比較

(人)



近年の受診者数は、徐々に増加していたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大により住民健診の中止や延期等で前年度より大幅な減少となった。令和3年度は、住民健診で持ち直したもののまだコロナ前の数字までは回復していない一方で、事業所健診については昨年並みの受診人数であった。

②施設内健診

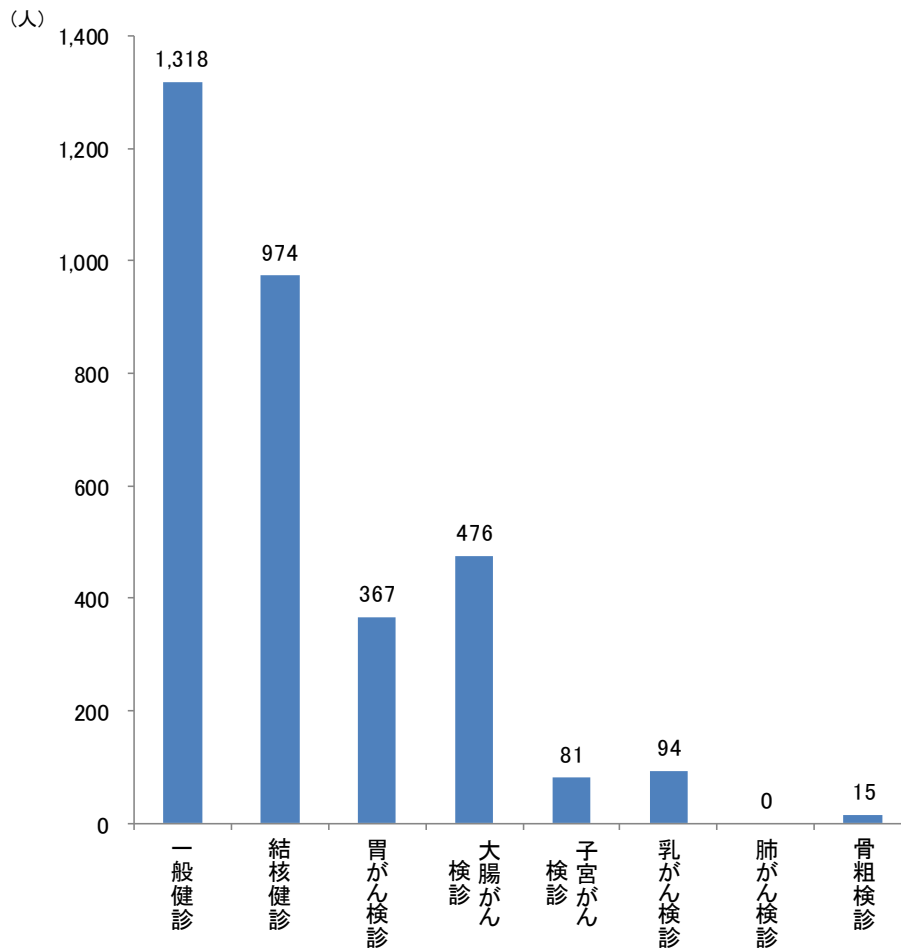
県民の健康づくりの一助となることを目的として、財団施設内において、全国健康保険協会
の生活習慣病予防健診、高齢者の医療の確保に関する法律等に基づく特定健康診査および特定
保健指導、労働安全衛生法に基づく健康診断・検査を実施した。令和3年度施設内健診実績者
数は1,572人であった。

また、ビジネス目的による海外渡航者向けの新型コロナウイルスPCR検査を実施し、陰性
証明書を発行した。令和3年度PCR検査実績者数は115人であった。

表1 施設内健診実施状況（検診別内訳）（再掲）

項目	一般健診	結核健診	胃がん検診	大腸がん 検診	子宮がん 検診	乳がん検診	肺がん検診	骨粗検診
受診人数	1,318	974	367	476	81	94	0	15

図1 施設内健診実施状況（検診別内訳）

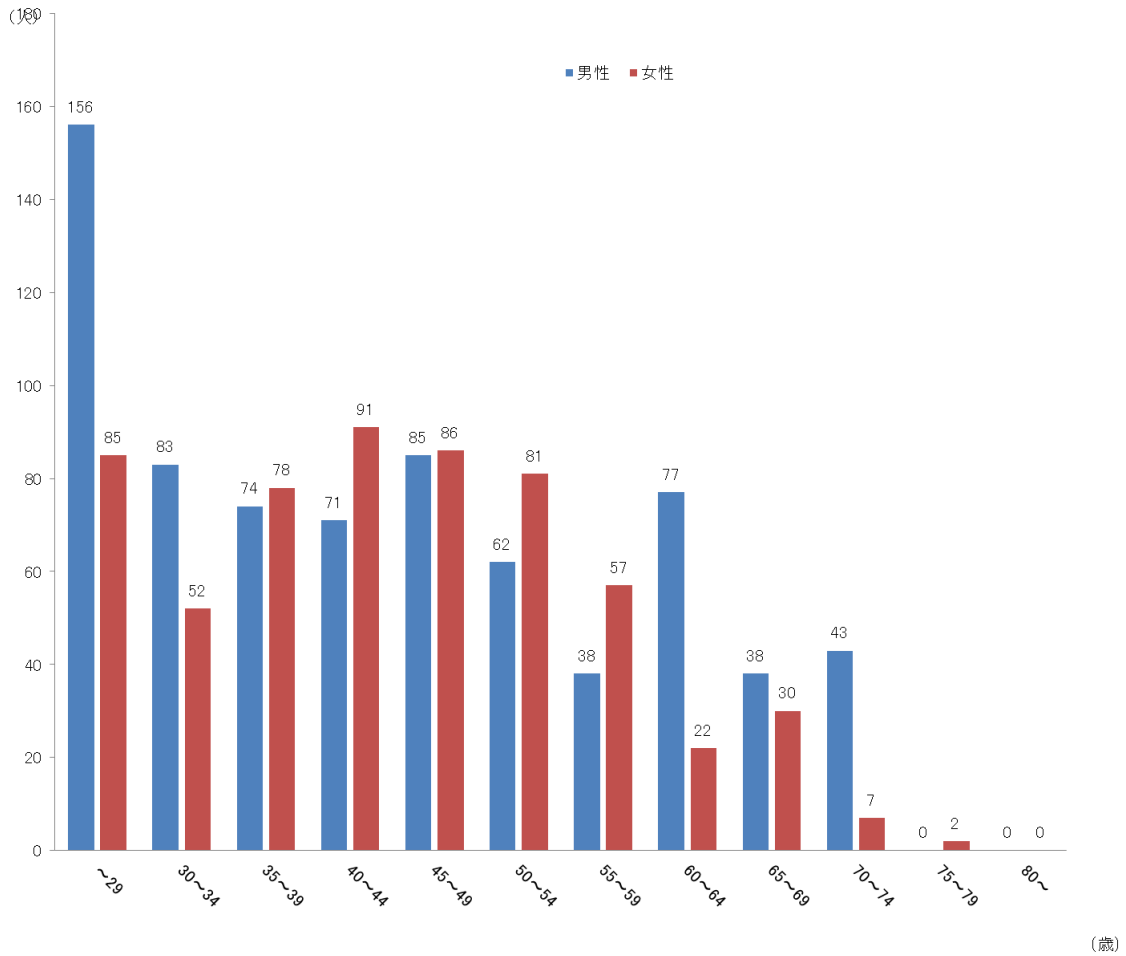


施設内健診での項目は、一般健診、結核健診、大腸がん検診の順に多かった。

表 2 施設内一般健診健診性別年齢別実績表（一般健診）

年齢階層	～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	合計
男性	156	83	74	71	85	62	38	77	38	43	0	0	727
女性	85	52	78	91	86	81	57	22	30	7	2	0	591
男女計	241	135	152	162	171	143	95	99	68	50	2	0	1,318

図2 施設内健診性別年齢別実績（一般健診）



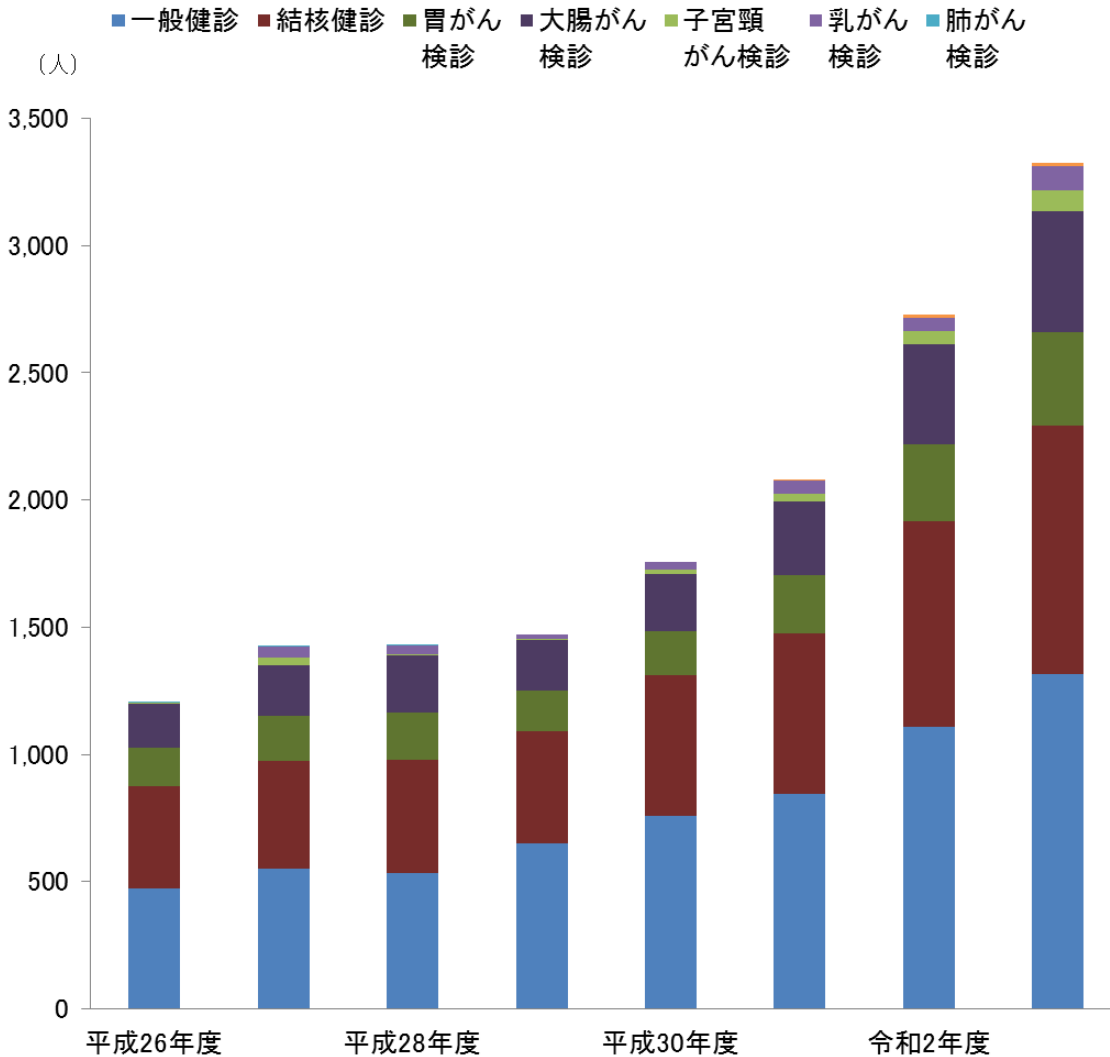
性別では、男性が女性より多く、年齢別では男性で 29 歳以下、45～49 歳、30～34 歳の順に多く、女性が 40～44 歳、45～49 歳、29 歳以下の順に多かった。

表3 施設内健診実施状況の経年比較

(人)

年度	一般健診	結核健診	胃がん 検診	大腸がん 検診	子宮頸 がん検診	乳がん 検診	肺がん 検診	骨粗検診
平成26年度	475	401	152	171	3	3	4	0
平成27年度	552	422	178	198	31	42	7	0
平成28年度	536	442	187	224	4	34	2	0
平成29年度	650	443	160	196	4	20	0	0
平成30年度	761	549	174	227	14	34	0	0
平成31 (令和元)年度	844	630	229	292	28	54	0	1
令和2年度	1,107	809	302	395	50	55	0	11
令和3年度	1,318	974	367	476	81	94	0	15

図3 施設内健診実施状況の経年比較



令和3年度は、肺がん検診以外すべての検診で受診者数が増加した。

③特定保健指導事業

巡回健診や施設内健診を通じて特定健診に基づく保健サービスを実施した。また、特定健診結果から生活習慣病のリスクが高く、生活習慣の改善による生活習慣病の予防効果が多く期待できる人達に対して、動機づけ支援や積極的支援など保健指導を通じ、生活習慣病を見直すサポートを実施した。

令和3年度特定保健指導実績者数は122人であった。また、そのうち令和3年度支援者は、積極的支援が42人、動機づけ支援が36人で、過年度継続支援者は積極的支援が14人、動機づけ支援が30人であった。

④その他保健指導事業

県民の健康づくりのため、委託を受けた市町や企業等の求めに応じ、健康づくりに関する講演や保健指導等を実施した。

守山市慢性腎臓病重症化予防事業

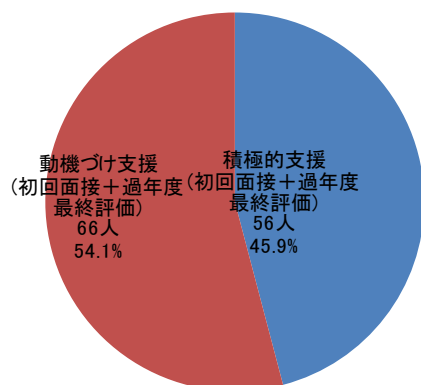
守山市より委託を受け、対象者の重症化を防ぎ、人工透析への移行を遅らせるため、保健指導を実施した。

- ・面接予定者 15名に対し、面接実施者 14名
- ・電話支援 のべ69回

表1 特定保健指導実施状況（指導区分別）

指導区分	受診者数
積極的支援（初回面接）	42人
過年度積極的支援（最終評価）	14人
小計	56人
動機づけ支援（初回面接）	36人
過年度動機づけ支援（最終評価）	30人
小計	66人
合計	122人

図1：特定保健指導実施状況（指導区分別）



動機づけ支援が54.1%、積極的支援が45.9%であった。

(2) 結核健診事業

結核罹患率は漸減傾向にあるが、発病者に占める高齢者の割合は増加傾向にあることから、結核の早期発見と正しい知識の普及・啓発を図るため、胸部エックス線デジタル撮影により結核健診を実施した。また、特別養護老人ホーム等の施設健診においては、ストレッチャー、車いすでの撮影が可能なリフト検診車を配車し、受診者の状況に対応した健診を実施した。

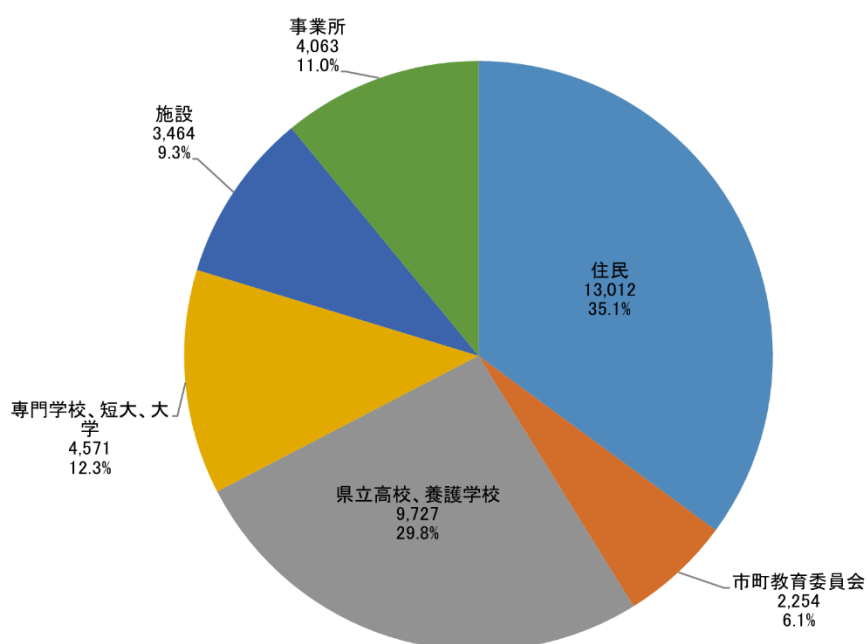
また、令和3年度一般財団法人日本宝くじ協会の公益法人助成事業により、結核予防会を通じ、令和4年3月4日に新たな胸部X線デジタル検診車を導入した。

令和2年度結核健診実績者数（肺がん検診同時実施分含む）は37,121人であり、前年度実績者数と比べ2,875人の増であった。

表1 結核健診実施状況（団体区分別）

団体区分	団体数	実施人数	区分								
			精検不要	肺活動性結核	核非活動性結核	循環器疾患	要その他	肺がん疑い	肺がんを強く疑う	異常なし	読影なし
住 民	10	13,012	4,570	0	94	8	29	325	3	7,983	0
市町教育委員会	100	2,254	362	0	1	1	0	7	0	1,883	0
県立高校、養護学校	70	9,727	577	0	12	3	11	2	0	9,122	0
専門学校、短大、大学	9	4,571	353	0	9	0	3	0	0	4,206	0
施 設	70	3,464	1,273	0	115	3	7	102	3	1,834	127
事 業 所	190	4,063	793	0	5	0	6	30	0	3,193	36
合計	449	37,091	7,928	0	236	15	56	466	6	28,221	163

図1 結核健診実施状況（団体区分別）



449団体 37,091人が受診し、うち、精検不要・異常なし・読影なしを除くと、779人に所見が見られた。

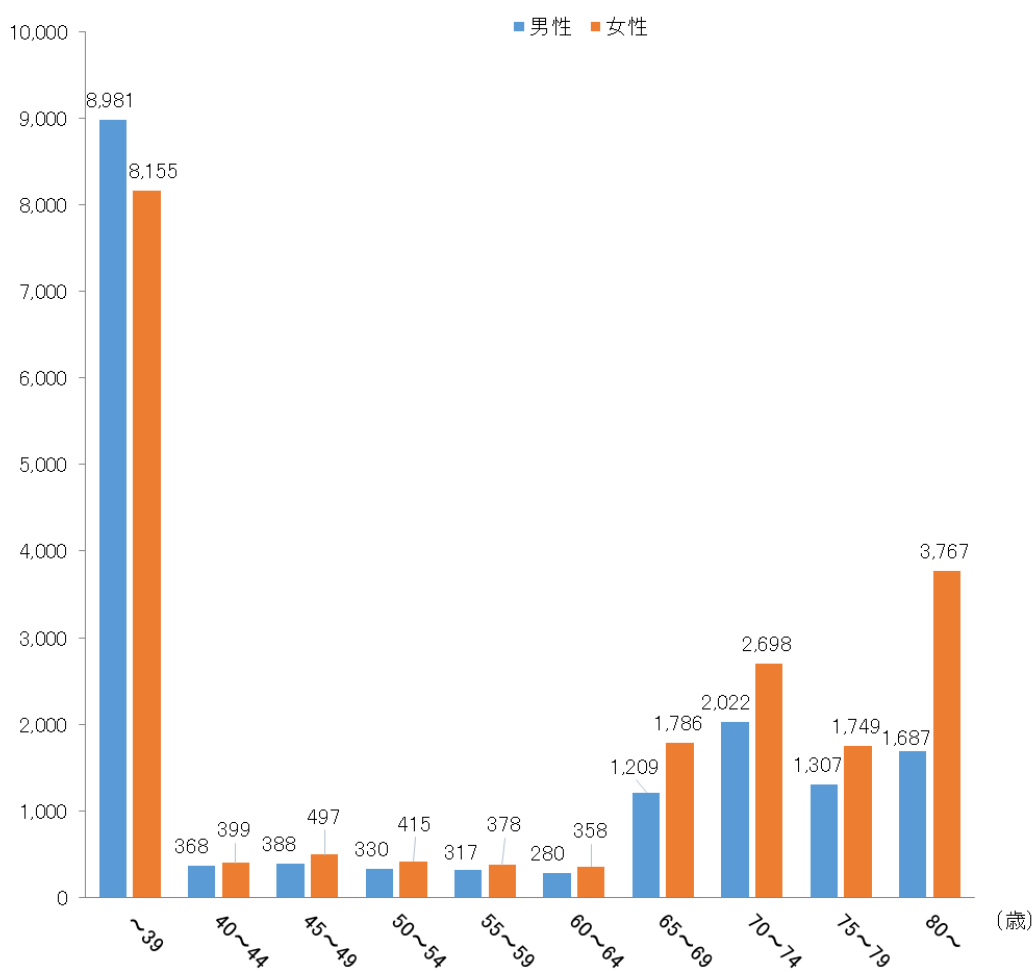
表2 結核健診実施状況（性別・年齢別）

(人)

性別	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	合計
男性	8,981	368	388	330	317	280	1,209	2,022	1,307	1,687	16,889
女性	8,155	399	497	415	378	358	1,786	2,698	1,749	3,767	20,202
合計	17,136	767	885	745	695	638	2,995	4,720	3,056	5,454	37,091

図2 結核健診実施状況（性別・年齢別）

(人)

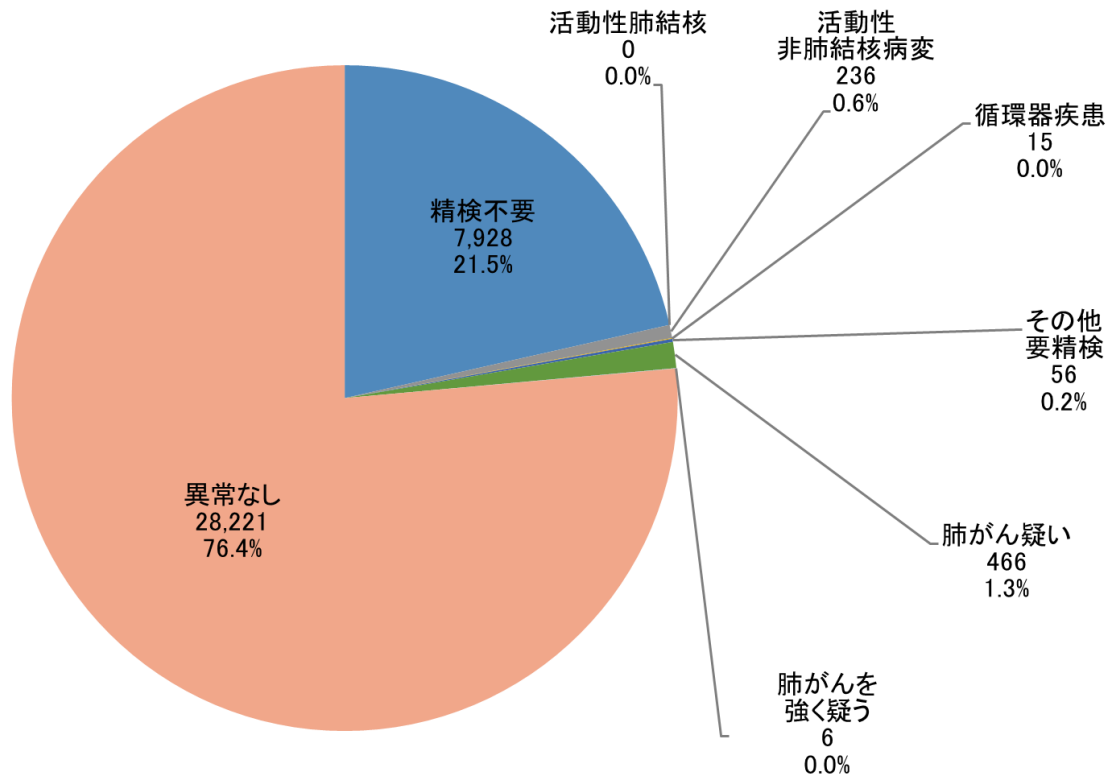


性別では女性が男性より 3,313 人多く、年齢別では男性で 39 歳以下、70～74 歳、80 歳以上の順に多く、女性が 39 歳以下、80 歳以上、70～74 歳の順に多かった。

表3 結核健診実施状況（団体別詳細）

	日数	受診人数	精検不要	活動性肺結核	非活動性肺結核病変	循環器疾患	要精検 その他	肺がん疑い	強 肺がんを 強く疑う	異常なし	読影なし	1日あたりの 受診人数
市町	202	13,012	4,570	0	94	8	29	325	3	7,983	0	64.42
栗東市	15	537	172	0	1	0	3	8	1	352	0	35.80
日野町	15	1,855	554	0	17	3	5	45	0	1,231	0	123.67
竜王町	7	242	106	0	2	0	1	3	0	130	0	34.57
彦根市	47	1,371	544	0	14	1	4	56	0	752	0	29.17
豊郷町	10	628	255	0	5	0	1	21	0	346	0	62.80
甲良町	9	740	232	0	7	0	1	9	0	491	0	82.22
多賀町	8	598	172	0	3	0	0	11	0	412	0	74.75
東近江市	45	2,137	935	0	12	1	2	59	1	1,127	0	47.49
米原市	37	2,794	941	0	12	3	6	71	0	1,761	0	75.51
愛荘町	9	2,110	659	0	21	0	6	42	1	1,381	0	234.44
市町教育委員会	305	2,254	362	0	1	1	0	7	0	1,883	0	7.39
県立高校・養護学校	111	9,727	577	0	12	3	11	2	0	9,122	0	87.63
専門学校・短大・大学	32	4,571	353	0	9	0	3	0	0	4,206	0	142.84
施設	69	3,464	1,273	0	115	3	7	102	3	1,834	127	50.20
事業所	278	4,063	793	0	5	0	6	30	0	3,193	36	14.62
総数	997	37,091	7,928	0	236	15	56	466	6	28,221	163	37.20

図3 結核健診実施状況（団体別詳細）

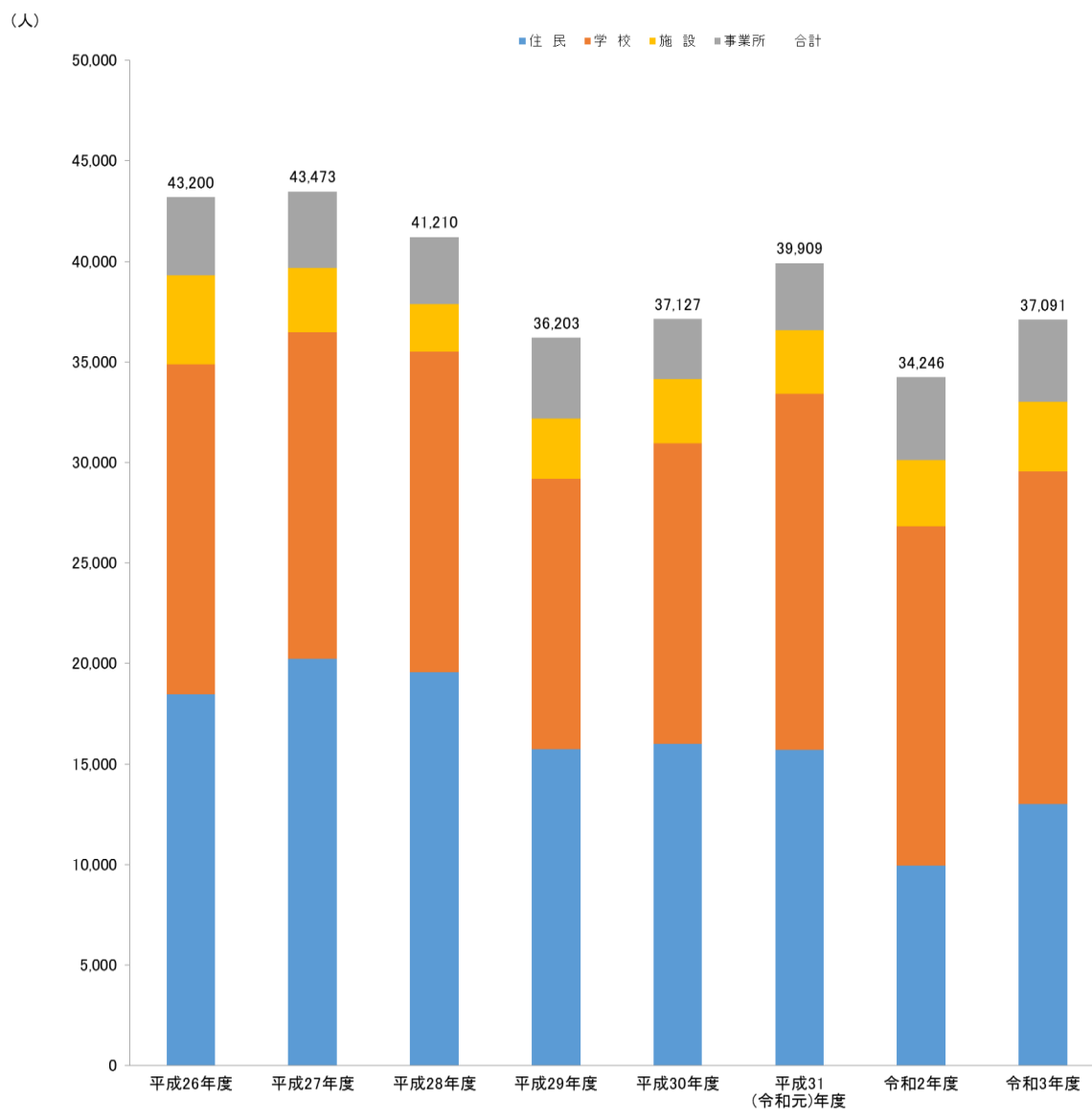


延べ907日にわたり37,091人に実施。平均すると1日あたりの受診人数は40.89人であった。

表4 結核健診実施状況の経年比較

団体区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31 (令和元)年度		令和2年度		令和3年度	
	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数
住 民	18,456	10	20,247	10	19,583	4	15,734	10	16,020	10	15,710	11	9,959	10	13,012	10
学 校	16,419	80	16,213	80	15,935	80	13,447	77	14,916	156	17,703	169	16,861	165	16,552	179
施 設	4,415	77	3,207	77	2,357	77	3,007	56	3,212	60	3,162	63	3,299	66	3,464	70
事 業 所	3,910	162	3,806	162	3,335	162	4,015	154	2,979	87	3,334	114	4,127	173	4,063	190
合 計	43,200	329	43,473	329	41,210	323	36,203	297	37,127	313	39,909	357	34,246	414	37,091	449

図4 結核健診実施状況の経年比較



令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、検診の中止・延期、受診控えがあった。令和3年度は前年の新型コロナウイルス感染症の蔓延による減少から持ち直したものの、コロナ前の水準までは回復していない。

(3) がん検診事業

がんは、日本人の死因のトップであり、なお増え続けている状況にある。滋賀県がん対策推進計画に基づき、県民に対してがんに関する正しい知識の普及、啓発を図り、がんの早期発見に努めるため、国の定める以下の5部位のがん検診を実施した。

①胃がん検診

胃がんは、2番目に罹患数が多いがんであり、県内でも胃がんによる死亡者がいまだ多い状況にあることから、胃がんの早期発見に努めるため、バリウム造影による胃部エックス線デジタル撮影により実施した。

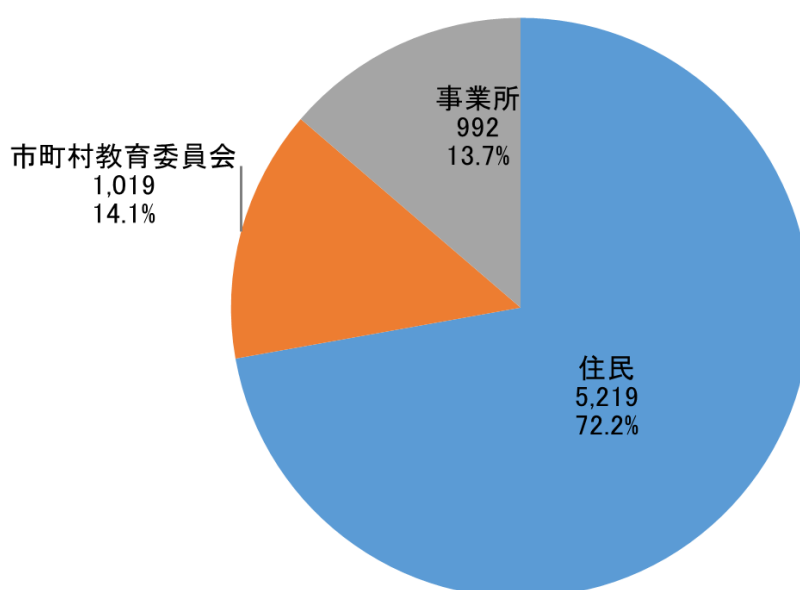
令和3年度胃がん検診実績者数は7,235人であり、前年度実績者数と比べ197人の減であった。

表1 胃がん検診実施状況（団体別）

団体区分	団体数	受診人数	異常なし	要精検	他臓器要精検	(胃所見) 精検不要	(付随所見) 精検不要	(精検不要) 受診勧奨	読影なし
住 民	10	5,219	2,379	241	61	1,750	51	737	0
市町村教育委員会	119	1,019	553	20	2	323	3	118	0
事 業 所	120	992	584	27	4	223	5	149	0
合計	249	7,230	3,516	288	67	2,296	59	1,004	0

(人)

図1 胃がん検診実施状況（団体別）



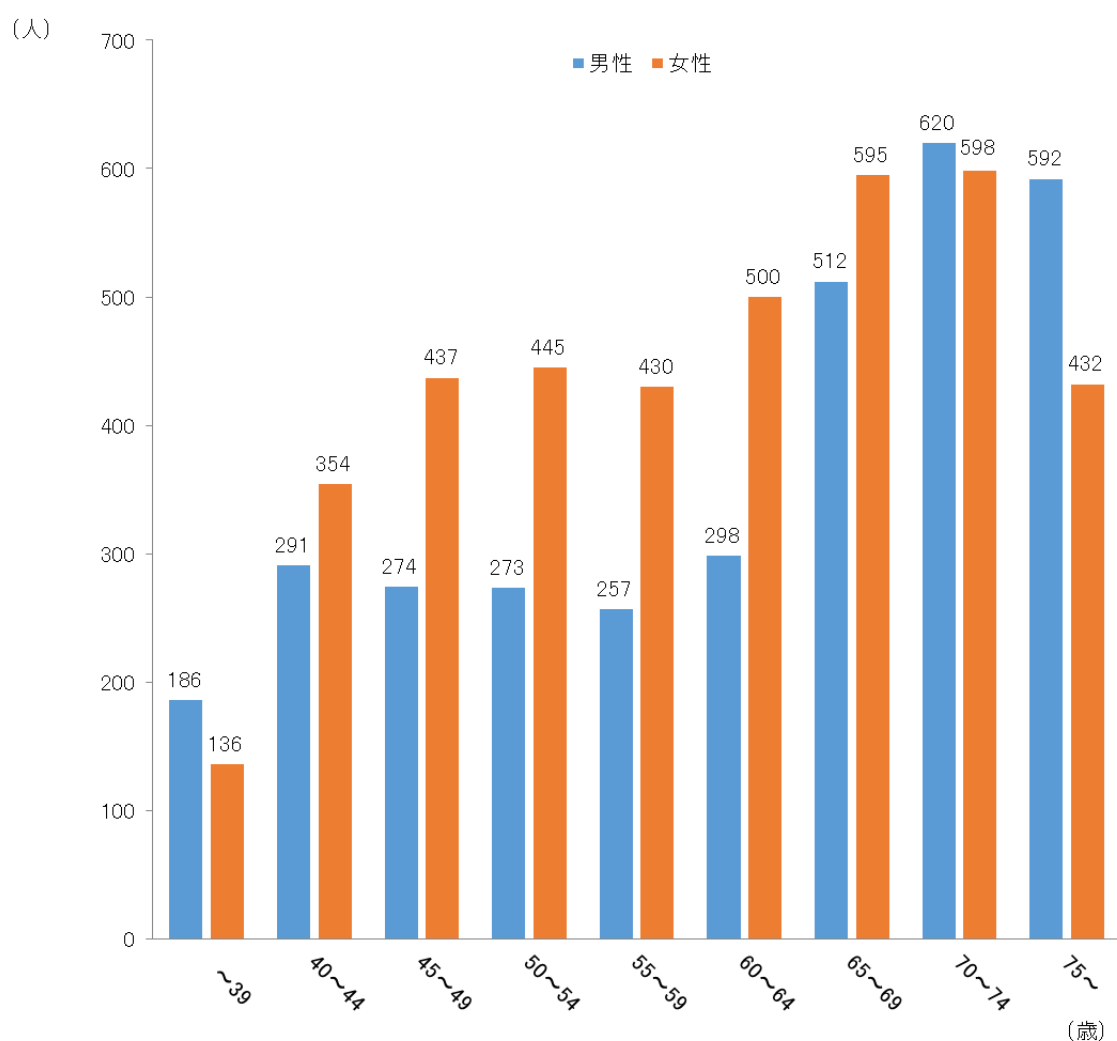
249団体7,230人が受診、そのうち、355人が要精検であった。

表2 胃がん検診実施状況（性別・年齢別）

(人)

性別	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
男性	186	291	274	273	257	298	512	620	592	3,303
女性	136	354	437	445	430	500	595	598	432	3,927
合計	322	645	711	718	687	798	1,107	1,218	1,024	7,230

図2 胃がん検診実施状況（性別・年齢別）

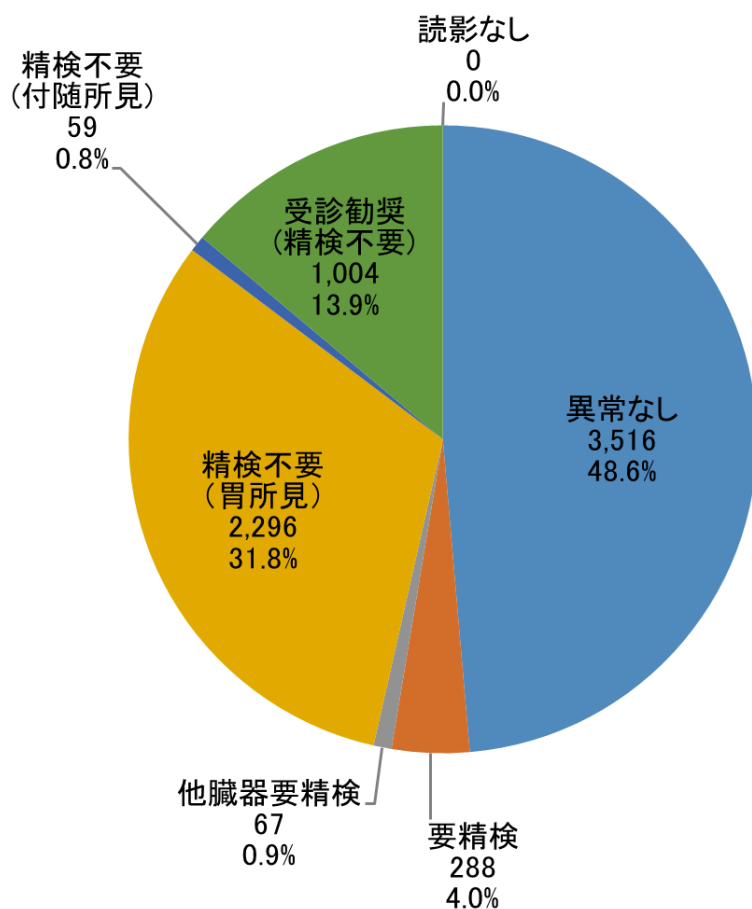


性別では、女性が男性より624人多く、年齢別では男性が70～74歳、75歳以上、65～69歳の順に多く、女性が70～74歳、65～69歳、60～64歳の順に多かった。

表3 胃がん検診実施状況（団体別詳細）

	日数	受診人数	異常なし	要精検	他臓器要精検	精検不要 (胃所見)	精検不要 (付随所見)	受診勧奨 (精検不要)	読影なし	要精検率	他臓器 要精検率	有所見率	1日あたり 受診人数
市町	168	5,219	2,379	241	61	1,750	51	737	0	4.6%	1.2%	47.7%	31.07
内訳													
栗東市	13	279	144	13	6	79	5	32	0	4.7%	2.2%	39.8%	21.46
日野町	14	356	171	19	4	105	3	54	0	5.3%	1.1%	44.7%	25.43
竜王町	7	218	105	11	2	68	1	31	0	5.0%	0.9%	45.4%	31.14
彦根市	15	518	229	32	5	159	12	81	0	6.2%	1.0%	46.3%	34.53
豊郷町	5	155	69	12	1	44	4	25	0	7.7%	0.6%	44.5%	31.00
甲良町	5	228	104	7	5	76	2	34	0	3.1%	2.2%	48.2%	45.60
多賀町	6	179	76	12	0	68	1	22	0	6.7%	0.0%	50.3%	29.83
東近江市	45	1,523	680	69	14	527	18	215	0	4.5%	0.9%	48.7%	33.84
高島市	19	730	331	30	10	255	5	99	0	4.1%	1.4%	48.5%	38.42
米原市	39	1,033	470	36	14	369	0	144	0	3.5%	1.4%	49.7%	26.49
市町教育委員会	254	1,019	553	20	2	323	3	118	0	2.0%	0.2%	43.3%	4.01
事業所	311	992	584	27	4	223	5	149	0	2.7%	0.4%	37.5%	3.19
総数	733	7,230	3,516	288	67	2,296	59	1,004	0	4.0%	0.9%	45.6%	9.86

図3 胃がん検診実施状況（結果別）

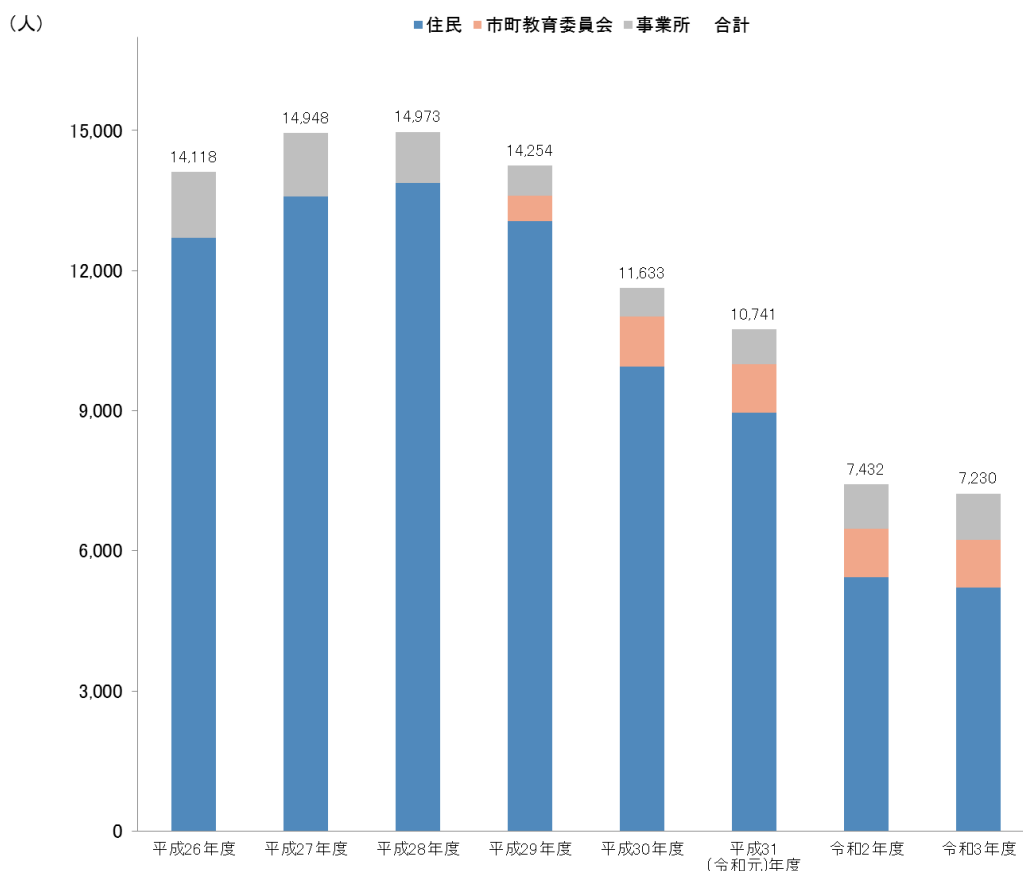


延べ733日にわたり、7,230人に実施、平均すると1日あたりの受診人数は9.8人であった。

表 4 胃がん検診実施状況の経年比較（団体別）

団体区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31 (令和元)年度		令和2年度		令和3年度	
	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数
住 民	12,697	11	13,591	12	13,880	14	13,058	14	9,945	13	8,951	13	5,440	12	5,219	10
市町教育委員会	—	—	—	—	—	—	542	48	1,079	103	1,052	107	1,032	103	1,019	119
事 業 所	1,421	142	1,357	133	1,093	104	654	55	609	57	738	79	960	104	992	120
合 計	14,118	153	14,948	145	14,973	118	14,254	117	11,633	173	10,741	199	7,432	219	7,230	249

図4 胃がん検診実施状況の経年比較（団体別）



平成 24 年度から平成 29 年度にかけて 14,000 人台を維持してきたが、住民健診の失注や市町の高齢者受診案内が控えられたこと等により平成 30 年度から大幅な減少となった。

以降は、国の方針で、胃がん検診を集団検診ではなく、診療所等で内視鏡などを利用した検診への推奨がなされたことにより受診人数は、減少の一途をたどっている。

それに加え、令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延による検診の中止・延期・受診控え等で、さらに減少した。

令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症の影響は減少してると思われるものの、2つの市との契約がなくなったことにより微減となっている。

②大腸がん検診

大腸がんによる死亡者は増加傾向にあり、最も罹患数の多いがんとなっている。早期発見に努めるため、便潜血検査（免疫学的便潜血検査2日法）を実施した。

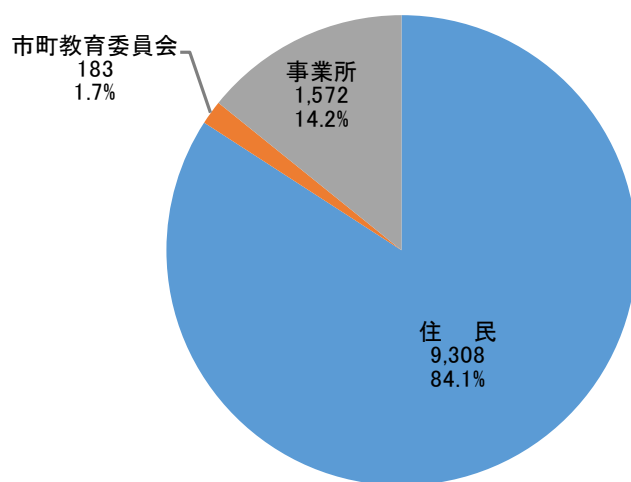
令和3年度大腸がん検診実績者数は11,063人であり、前年度実績者数と比べ1,933人の増であった。

表1 大腸がん検診実施状況（団体別）

団体区分	団体数	受診人数	陰性	陽性	判定保留	検査不能	再検
住 民	9	9,308	8,797	511	0	0	0
市町教育委員会	27	183	174	9	0	0	0
事業所	131	1,572	1,489	82	1	0	1
合計	167	11,063	10,460	602	1	0	1

(人)

図1 大腸がん検診実施状況（団体別）



167団体11,063人が受診。そのうち、602人が陽性であった。

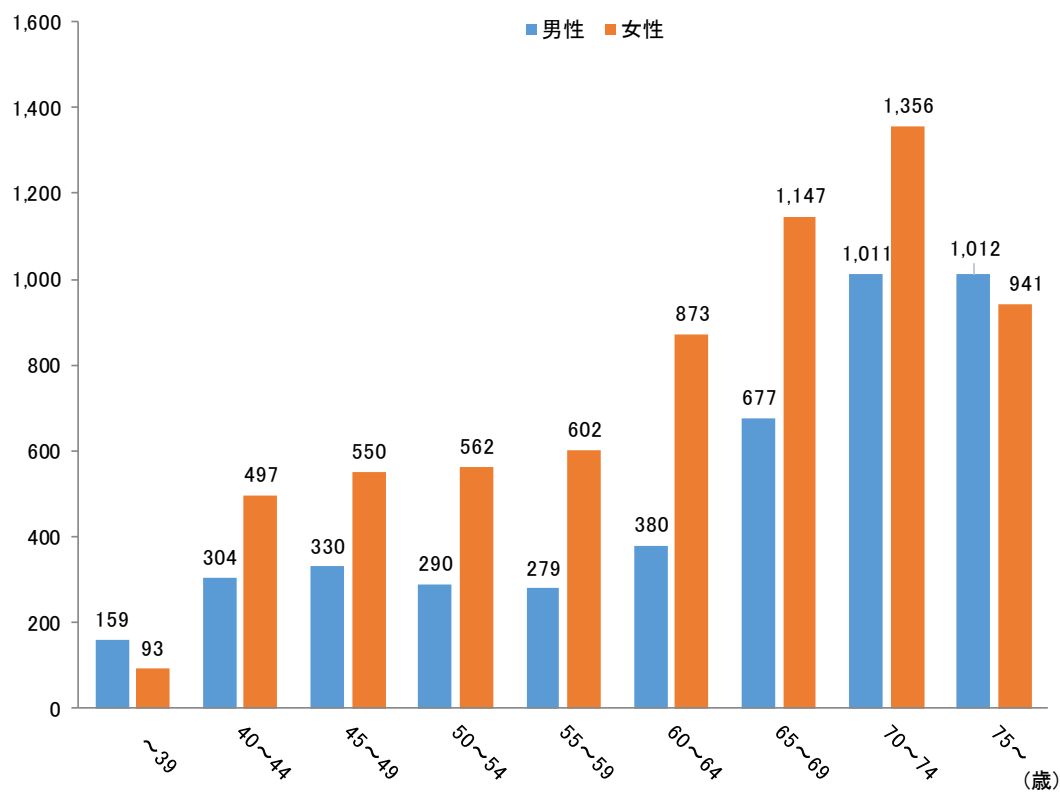
表2 大腸がん検診実施状況（性別・年齢別）

(人)

性別	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
男性	159	304	330	290	279	380	677	1,011	1,012	4,442
女性	93	497	550	562	602	873	1,147	1,356	941	6,621
合計	252	801	880	852	881	1,253	1,824	2,367	1,953	11,063

図2 大腸がん検診実施状況（性別・年齢別）

(人)

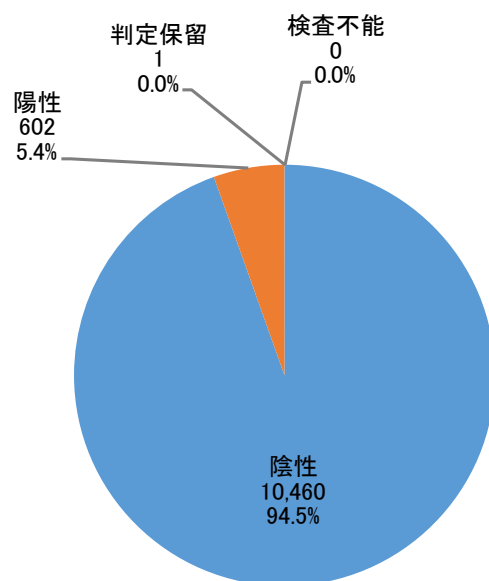


性別では、女性が男性より多く、年齢別では、男性で75歳以上、70～74歳、65～69歳、女性で70～74歳、65～69歳、75歳以上の順に多かった。

表3 大腸がん検診実施状況（団体別詳細）

	日数	受診人数	陰性	陽性	判定保留	検査不能	再検	陽性率	1日あたり 受診人数
市町	186	9,308	8,797	511	0	0	0	5.5%	50.04
市町教育委員会	日野町	16	664	630	34	0	0	5.1%	41.50
	竜王町	7	372	348	24	0	0	6.5%	53.14
	彦根市	27	1,380	1,310	70	0	0	5.1%	51.11
	豊郷町	6	281	269	12	0	0	4.3%	46.83
	甲良町	8	429	394	35	0	0	8.2%	53.63
	多賀町	6	276	257	19	0	0	6.9%	46.00
	東近江市	45	2,730	2,565	165	0	0	6.0%	60.67
	高島市	25	1,312	1,242	70	0	0	5.3%	52.48
	米原市	39	1,864	1,782	82	0	0	4.4%	47.79
市町教育委員会	55	183	174	9	0	0	4.9%	3.33	
事業所	370	1,572	1,489	82	1	0	1	5.2%	4.25
総数	611	11,063	10,460	602	1	0	1	5.4%	18.11

図3 大腸がん検診実施状況（結果別）

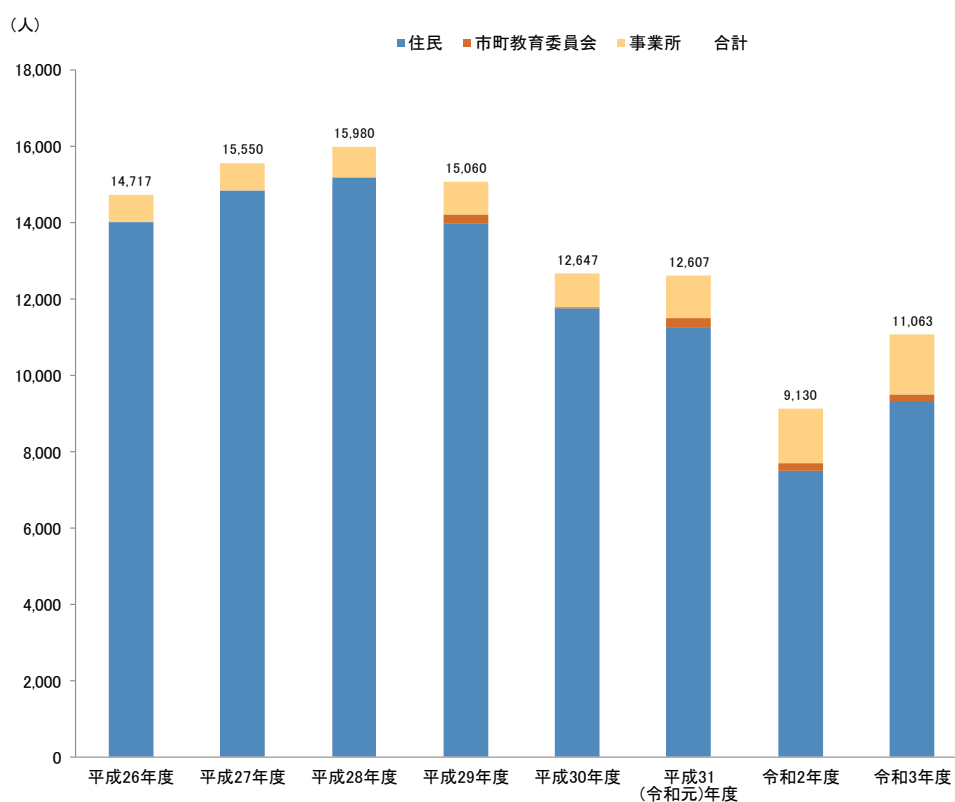


延べ611日にわたり、11,063人に実施した。

表4 大腸がん検診実施状況の経年比較（団体別）

団体区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31 (令和元)年度		令和2年度		令和3年度	
	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数
住 民	13,999	7	14,825	8	15,177	10	13,988	10	11,736	9	11,246	10	7,501	9	9,308	9
市町教育委員会	—	—	—	—	—	—	227	28	27	1	253	28	192	29	183	27
事 業 所	718	63	725	55	803	53	845	58	884	59	1,108	86	1,437	114	1,572	131
合 計	14,717	70	15,550	63	15,980	63	15,060	96	12,647	69	12,607	124	9,130	152	11,063	167

図4 大腸がん検診実施状況の経年比較（団体別）



令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、検診の中止・延期、受診控えがあった。

令和3年度は前年の新型コロナウイルス感染症の蔓延による減少から持ち直したものの、コロナ前の水準までは回復していない。

③子宮頸がん検診

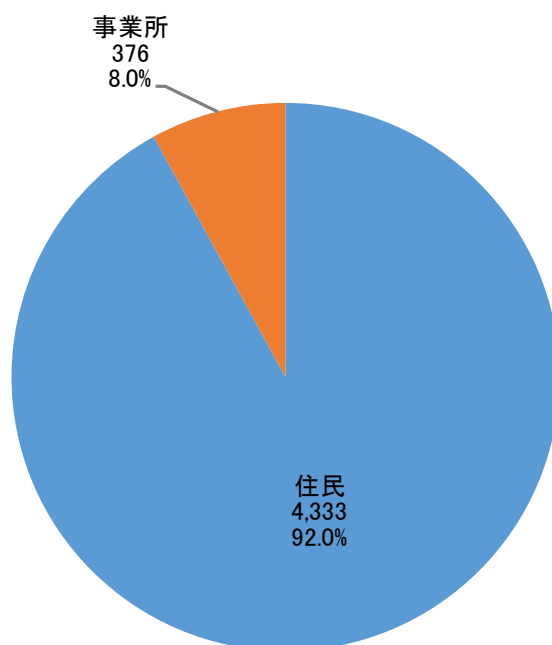
子宮頸がんは20代の女性が患うがんの中で最も多い疾患である。早期発見に努めるため、双合診および子宮頸部の細胞診の併用により実施した。

令和3年度子宮頸がん検診実績者数は4,709人であり、子宮頸がん検診は前年度実績者数と比べ1,336人の増であった。

表1 子宮頸がん検診実施状況（団体別）

団体区分	団体数	受診人数 (A)	要精検 (B)	要再検	異常を認めず	その他	要精検率 (B/A)
住 民	9	4,333	5	0	4,328	0	0.12%
事 業 所	38	376	1	0	375	0	0.27%
合計	47	4,709	6	0	4,703	0	0.13%

図1 子宮頸がん検診実施状況（団体別）



47団体4,709人が受診し、そのうち、6人が要精検者であった。

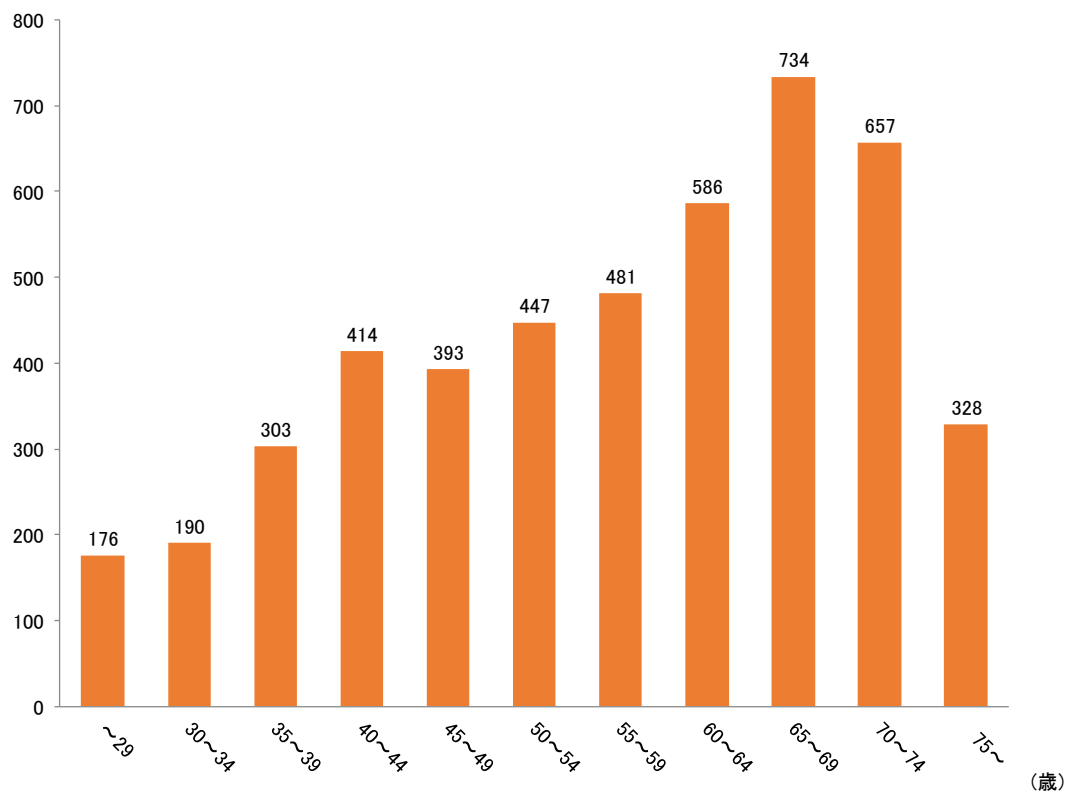
表2 子宮頸がん検診実施状況（年齢別）

(人)

性別	～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
女性	176	190	303	414	393	447	481	586	734	657	328	4,709

図2 子宮頸がん検診実施状況（年齢別）

(人)

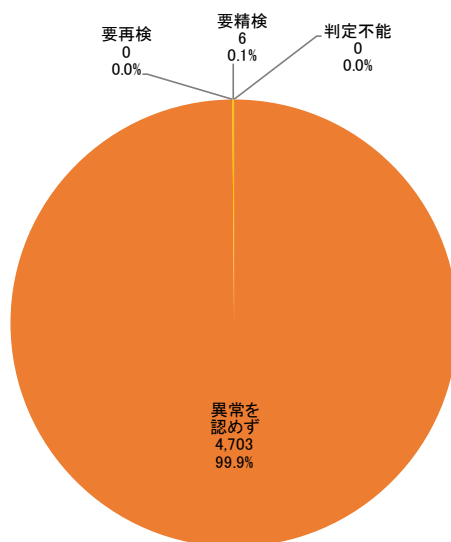


年齢別では、65～69歳、70～74歳、60～64歳の順に受診者が多かった。

表3 子宮頸がん検診実施状況（団体別詳細）

	日数	受診人数	ベセスダ分類											判定不能	異常を認めず	要再検	要精検	要精検率	1日あたり受診人数	
			NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adenoca	Other								
市町	125	4,333	4,328	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4,328	0	5	0.12%	34.66
日野町	12	324	324	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	324	0	0	0.00%	27.00
竜王町	6	184	184	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	184	0	0	0.00%	30.67
彦根市	14	547	547	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	547	0	0	0.00%	39.07
豊郷町	4	116	116	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	116	0	0	0.00%	29.00
甲良町	4	152	152	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	152	0	0	0.00%	38.00
多賀町	4	153	153	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	153	0	0	0.00%	38.25
東近江市	35	1,452	1,450	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,450	0	2	0.14%	41.49
高島市	19	610	608	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	608	0	2	0.33%	32.11
米原市	27	795	794	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	794	0	1	0.13%	29.44
事業所	75	376	375	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	375	0	1	0.27%	5.01
総数	200	4,709	4,703	5	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4,703	0	6	0.13%	23.55

図3 子宮頸がん検診実施状況（団体別詳細）

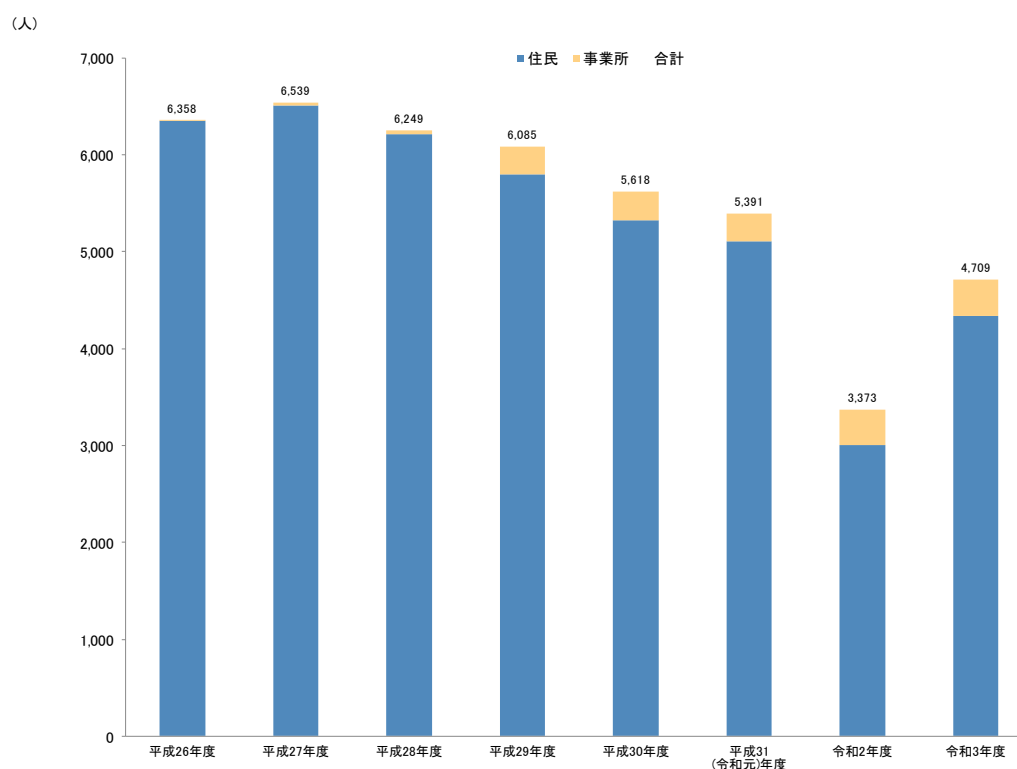


延べ200日にわたり、4,709人に実施した。

表4 子宮頸がん検診実施状況の経年比較（団体別）

団体区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31 (令和元)年度		令和2年度		令和3年度	
	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数
住 民	6,352	8	6,508	9	6,216	9	5,802	9	5,323	9	5,110	10	3,007	9	4,333	9
事 業 所	6	4	31	4	33	4	283	10	295	13	281	16	366	16	376	38
合 計	6,358	12	6,539	13	6,249	13	6,085	19	5,618	22	5,391	26	3,373	25	4,709	47

図4 子宮頸がん検診の実施状況の経年比較(団体別)



市町の受診勧奨により平成25年～平成27年度は増加したが、その後漸減。

令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、検診の中止・延期、受診控えがあった。

令和3年度は前年の新型コロナウイルス感染症の蔓延による減少から持ち直したものの、コロナ前の水準までは回復していない。

④乳がん検診

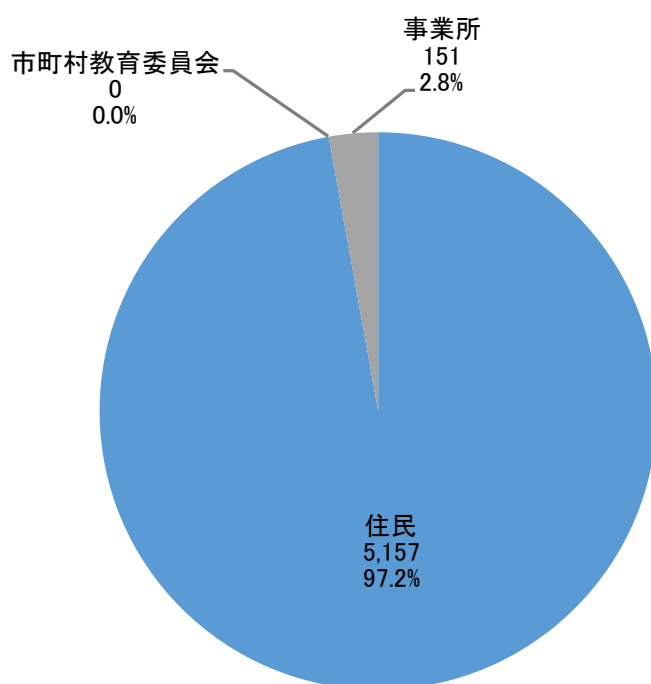
乳がんは、女性において最も罹患数が多いがんである。当財団では、マンモグラフィ撮影を実施した。

令和3年度乳がん検診実績者数は5,308人であり、前年度実績者数と比べ1,743人の増であった。

表1 乳がん検診実施状況（団体別）

団体区分	団体数	受診人数 (A)	要精検 (B)	精検不要		要精検率 (B/A)
				有所見	異常所見 なし	
住 民	9	5,157	252	0	4,905	4.89%
市町村教育委員会	0	0	0	0	0	0.00%
事 業 所	33	151	9	0	142	5.96%
合計	42	5,308	261	0	5,047	4.92%

図1 乳がん検診実施状況(団体別)



42団体5,308人が受診し、そのうち、261人が要精密検査であった。

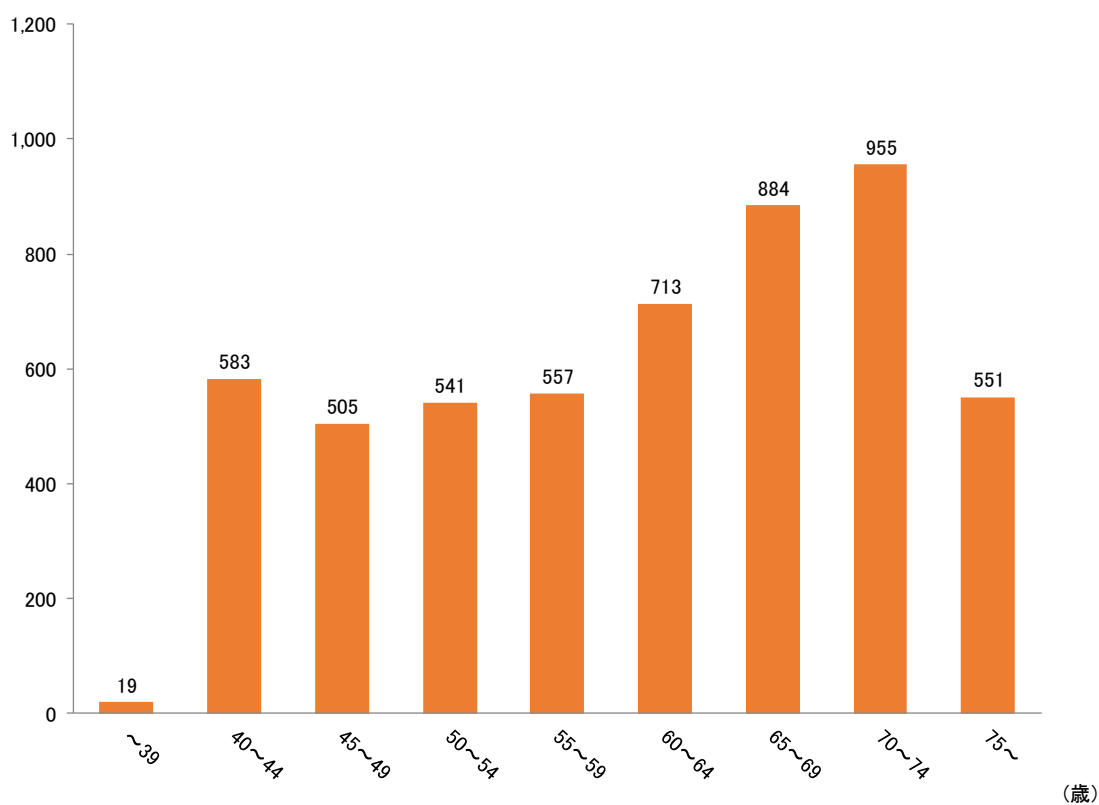
表2 乳がん検診実施状況（年齢別）

(人)

性別	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
女性	19	583	505	541	557	713	884	955	551	5,308

図2 乳がん検診実施状況（年齢別）

(人)

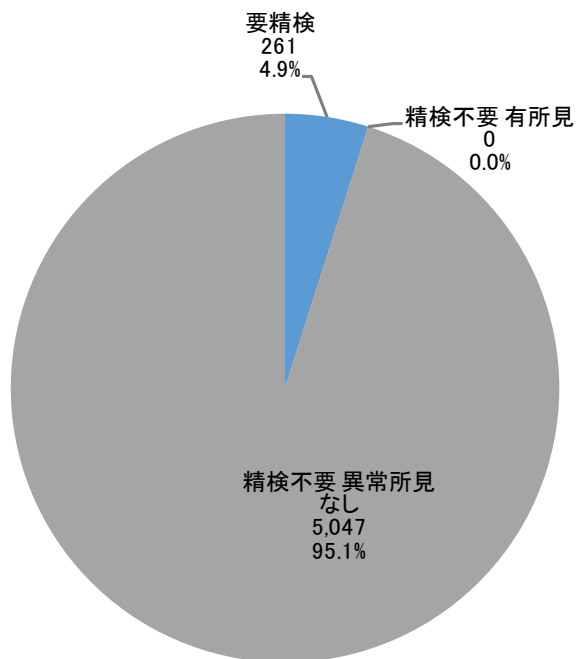


年齢別では70～74歳、65～69歳、60～64歳の順に多かった。

表3 乳がん検診実施状況（団体別詳細）

	日数	受診人数 (A)	要精検 (B)	精検不要		要精検率 (B/A)	1日あたり 受診人数
				有所見	異常所見 なし		
市町	130	5,157	252	0	4,905	4.89%	39.67
日野町	12	358	13	0	345	3.63%	29.83
竜王町	6	214	12	0	202	5.61%	35.67
彦根市	18	828	51	0	777	6.16%	46.00
豊郷町	4	117	8	0	109	6.84%	29.25
甲良町	4	175	13	0	162	7.43%	43.75
多賀町	4	188	7	0	181	3.72%	47.00
東近江市	35	1,560	97	0	1,463	6.22%	44.57
高島市	19	737	21	0	716	2.85%	38.79
米原市	28	980	30	0	950	3.06%	35.00
市町村教育委員会	0	0	0	0	0	0.00%	0.00
事業所	62	151	9	0	142	5.96%	2.44
総数	192	5,308	261	0	5,047	4.92%	27.65

図3 乳がん検診実施状況（結果別）

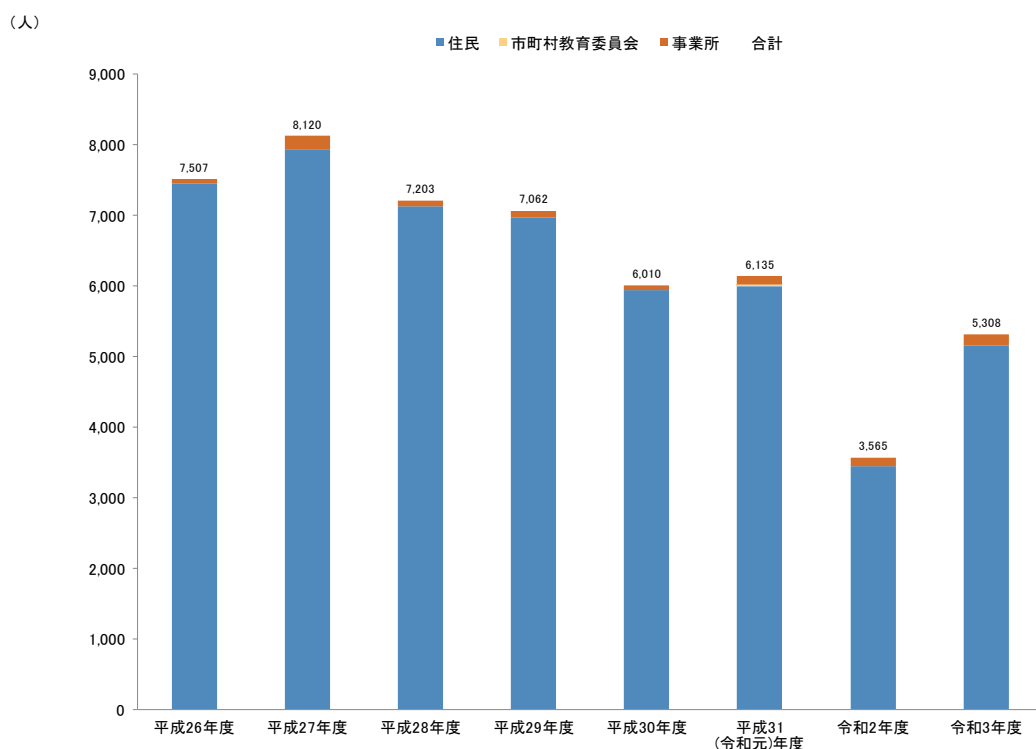


延べ192日にわたり、5,308人に実施した。

表4 乳がん検診実施状況の経年比較（団体別）

団体区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31 (令和元)年度		令和2年度		令和3年度	
	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数
住 民	7,450	9	7,933	10	7,127	10	6,966	10	5,939	9	5,994	10	3,450	9	5,157	9
市町村教育委員会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	19	1	0	0	0	0
事 業 所	57	3	187	6	76	4	96	7	71	12	122	12	115	26	151	26
合 計	7,507	12	8,120	16	7,203	14	7,062	17	6,010	21	6,135	23	3,565	35	5,308	35

図4 乳がん検診実施状況の経年比較（団体別）



令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、検診の中止・延期、受診控えがあった。

令和3年度は前年の新型コロナウイルス感染症の蔓延による減少から持ち直したものの、コロナ前の水準までは回復していない。

⑤肺がん検診

肺がんは、部位別がん死亡数で最も多い疾患である。早期発見のため、問診および胸部エックス線デジタル撮影、またハイリスクの受診者に対しては喀痰細胞診との併用により実施した。

令和3年度肺がん検診実績者数は8,924人であり、前年度実績者数と比べ2,714人の増であった。また、そのうち喀痰検査併用受診者が275人であった。

表1 肺がん検診実施状況（団体別）

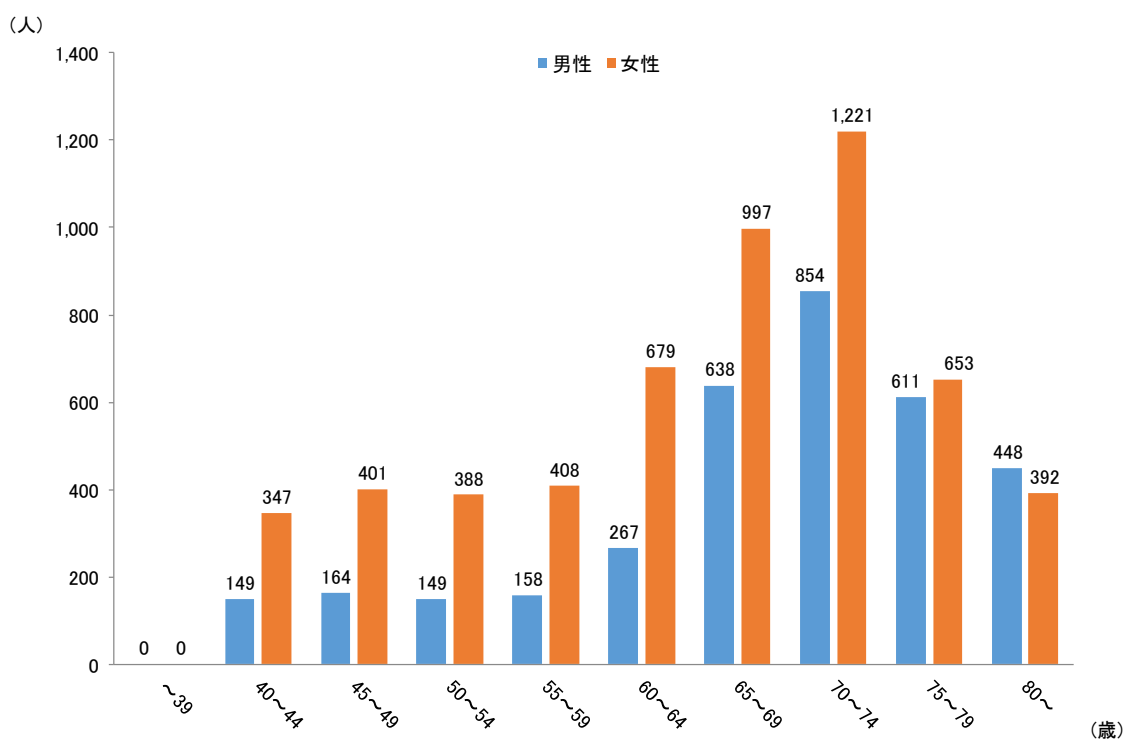
団体区分	団体数	受診者数	精検不要	肺活動性核性	核非活動性	循環器疾患	要その他精検	肺がん疑い	強く疑う	異常なし	読影なし
住 民	10	8,924	3,123	0	44	3	16	201	2	5,535	0
事 業 所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	10	8,924	3,123	0	44	3	16	201	2	5,535	0

10団体8,924人が受診し、そのうち、精検不要、異常なしを除くと、266人に所見が見られた。

表2 肺がん検診実施状況（性別・年齢別）

(人)											
性別	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	合計
男性	0	149	164	149	158	267	638	854	611	448	3,438
女性	0	347	401	388	408	679	997	1,221	653	392	5,486
合計	0	496	565	537	566	946	1,635	2,075	1,264	840	8,924

図2 肺がん検診実施状況（性別・年齢別）

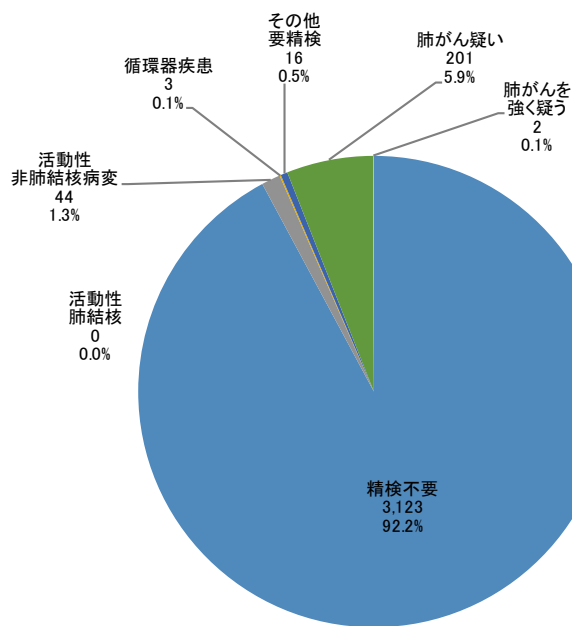


性別では、女性が男性より多く、年齢別では男性が70～74歳、65～69歳、75～79歳の順に多く、女性が70～74歳、65～69歳、60～64歳の順に多かった。

表3 肺がん検診実施状況（団体別詳細）

	日数	受診人数	精検不要	肺活動性結核	非肺活動性結核病変	循環器疾患	要その他精検	肺がん疑い	肺がんを強く疑う	異常なし	読影なし	1日あたり受診人数
市町	119	8,924	3,123	0	44	3	16	201	2	5,535	0	74.99
栗東市	15	537	172	0	1	0	3	8	1	352	0	35.80
日野町	9	298	99	0	1	0	0	5	0	193	0	33.11
竜王町	7	341	130	0	2	0	1	4	0	204	0	48.71
彦根市	47	1,959	692	0	14	1	4	62	0	1,186	0	41.68
豊郷町	10	792	285	0	5	0	1	23	0	478	0	79.20
甲良町	6	332	75	0	3	0	1	2	0	251	0	55.33
多賀町	6	248	62	0	3	0	0	6	0	177	0	41.33
東近江市	19	3,035	1,153	0	13	1	4	68	1	1,795	0	159.74
高島市	0	261	85	0	0	0	2	6	0	168	0	
米原市	0	1,121	370	0	2	1	0	17	0	731	0	
事業所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
総数	119	8,924	3,123	0	44	3	16	201	2	5,535	0	74.99

図3 肺がん検診実施状況（結果別、異常なしを除く）

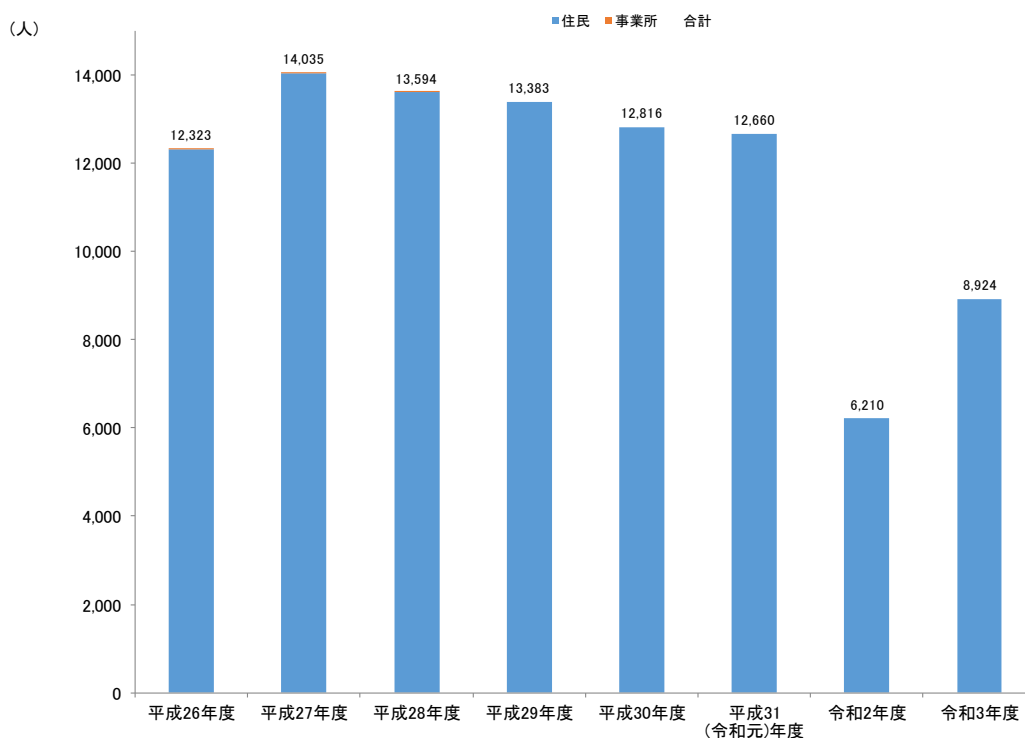


延べ119日にわたり、8,924人に実施した。

表 4 肺がん検診実施状況の経年比較（団体別）

団体区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31 (令和元)年度		令和2年度		令和3年度	
	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数
住 民	12,318	9	14,016	11	13,592	11	13,383	11	12,816	10	12,660	11	6,210	11	8,924	10
事 業 所	5	1	19	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	12,323	10	14,035	14	13,594	12	13,383	11	12,816	10	12,660	11	6,210	11	8,924	10

図4 肺がん検診実施状況の経年比較（団体別）



一部市町において、医療機関での実施数が増えたことにより、平成28年以降、漸減している。

また、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、検診の中止・延期、受診控えがあった。

令和3年度は前年の新型コロナウイルス感染症の蔓延による減少から持ち直したものの、コロナ前の水準までは回復していない。

(4) 検査事業

①骨粗しょう症検査

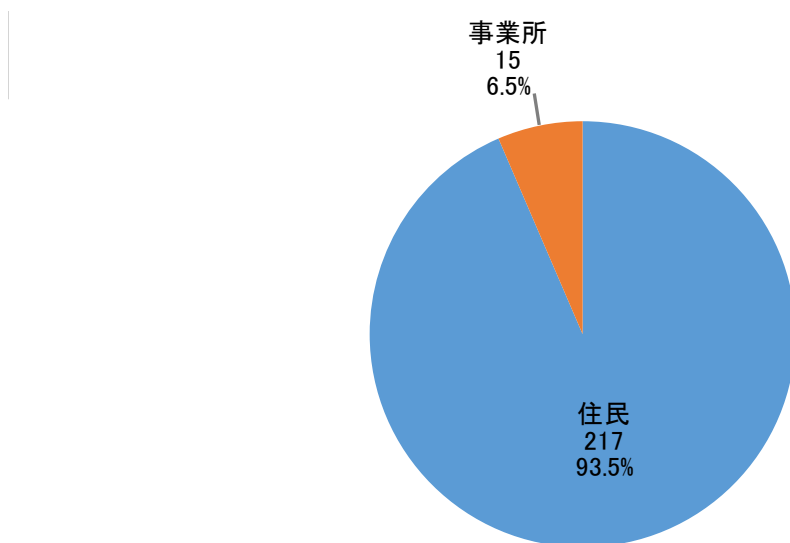
骨粗しょう症は骨折や寝たきりの原因となる疾患であり、予防や早期治療開始を目的として、前腕の橈骨における骨量測定検査（DXA法）を実施した。

令和3年度骨粗しょう症検査実績者数は232人であり、前年度実績者数と比べ71人の減であった。

表1 骨粗しょう症検査実施状況（団体別）

団体区分	団体数	受診人数 (A)	要受診 (B)	要指導	異常所見 なし	要受診率 (B/A)
住 民	4	217	63	49	105	29.03%
事 業 所	2	15	0	3	12	0.00%
合 計	6	232	63	52	117	27.16%

図1 骨粗しょう症検査実施状況（団体別）

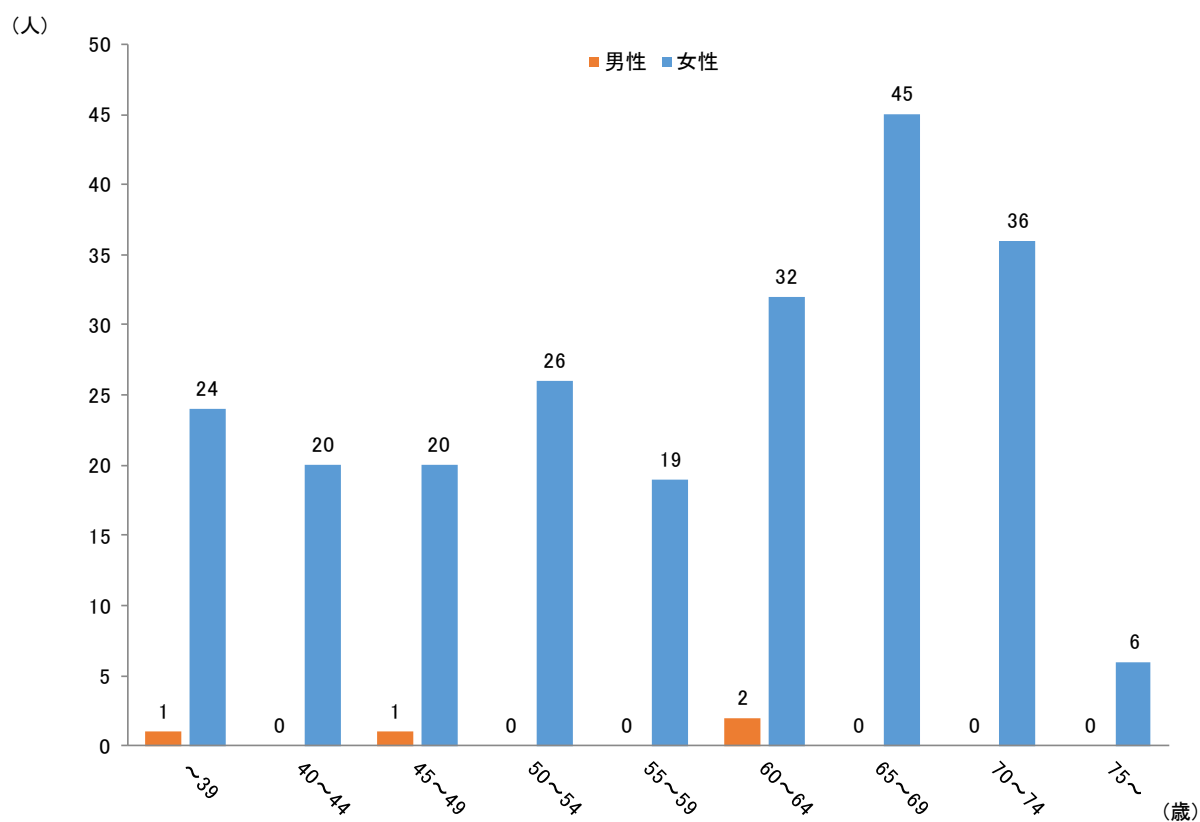


6団体232人が受診し、そのうち、63人が要受診であった。

表2 骨粗しょう症検診実施状況（性別・年齢別）

(人)										
性別	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
男性	1	0	1	0	0	2	0	0	0	4
女性	24	20	20	26	19	32	45	36	6	228
合計	25	20	21	26	19	34	45	36	6	232

図2 骨粗しょう症検診実施状況（女性：年齢別）

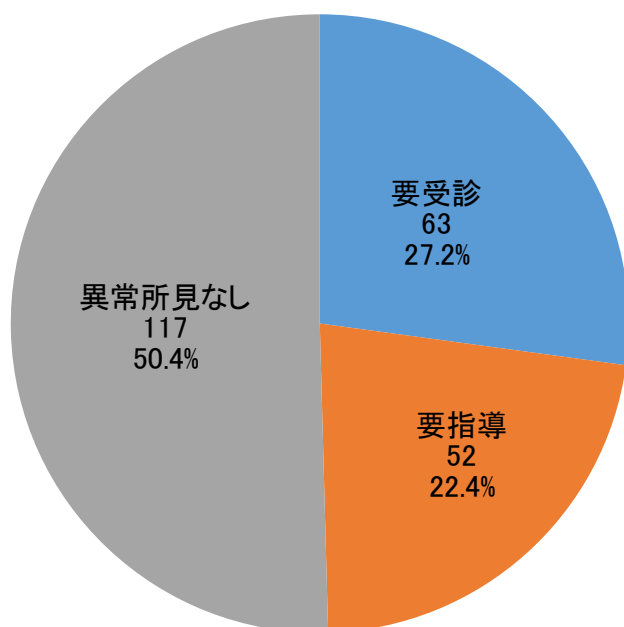


年齢別では、女性で65～69歳、70～74歳、60～64歳の順に多かった。
 男性は、60～64歳で2名、45～49歳で1名、39歳以下で1名の受診があった。

表3 骨粗しょう症検査実施状況（団体別詳細）

		日数	受診人数 (A)	要受診 (B)	要指導	異常所見なし	要受診率 (B/A)	1日あたり 受診人数
市町		11	217	63	49	105	29.03%	19.73
内訳	豊郷町	3	130	40	32	58	30.77%	43.33
	多賀町	1	50	13	12	25	26.00%	50.00
	高島市	1	20	9	3	8	45.00%	20.00
	米原市	5	17	1	2	14	5.88%	3.40
事業所		5	15	0	3	12	0.00%	0.00
総数		16	232	63	52	117	27.16%	14.50

図3 骨粗しょう症検診実施状況（結果別）

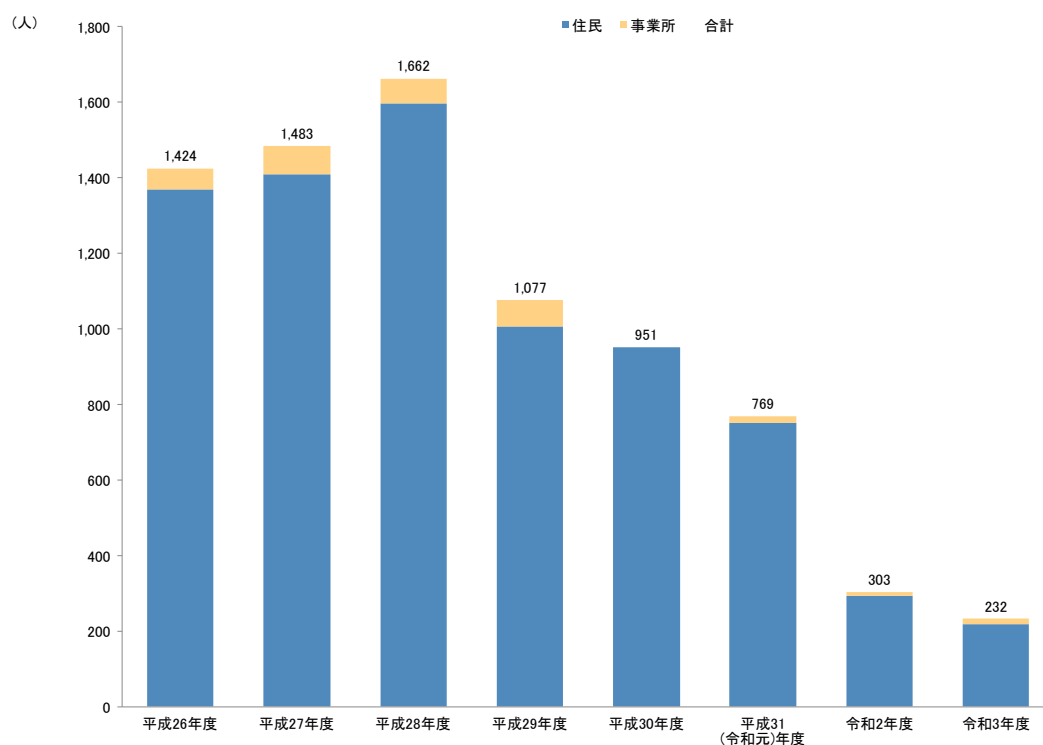


延べ16日にわたり232人に実施した。

表4 骨粗しょう症検査実施状況の経年比較（団体別）

団体区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31 (令和元)年度		令和2年度		令和3年度	
	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数
住 民	1,370	7	1,408	8	1,597	8	1,007	7	951	7	751	6	292	4	217	4
事 業 所	54	1	75	1	65	1	70	1	0	0	18	2	11	1	15	2
合 計	1,424	8	1,483	9	1,662	9	1,077	8	951	7	769	8	303	5	232	6

図4 骨粗しょう症検査実施状況の経年比較(団体別)



平成29年度、平成31（令和元）年度は、それぞれ1市の検査が減ったことにより受診者数が減少している。

また、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、検診の中止・延期、受診控えがあったため、前年に比べて約61%の受診者数減となった。

令和3年度は、前年に続き約23%の受診者数減となった。

(5) 健診結果分析評価事業

疾病予防や健康づくり等、滋賀県民一人ひとりの健康増進を図るため、財団において所有する各健診（検診）データの結果分析および評価を行い、情報の還元を行った。

令和3年度については、県民一人ひとりの疾病予防や健康づくりを進めるため、財団において所有する特定健診・特定保健指導のデータを基に、適切な保健指導について分析、検討した。

(6) 健康づくり事業

滋賀県健康いきいき21の実質的な推進母体として活動される滋賀県健康推進員団体連絡協議会に対し、継続的な健康づくり事業の推進のための支援を行った。

また、事業所の従業員を対象に、健康づくり出前講座等を実施した。

①滋賀県健康推進員団体連絡協議会の活動に対する支援

I. 滋賀県健康づくり財団施設における研修会

i 守山市健康推進員運動部会研修会

日時 令和3年7月8日(木) 10:00 ~ 12:00

場所 滋賀県健康づくり財団 大会議室・多目的室

内容 「体力測定」

講師 滋賀県健康づくり財団 健康運動指導士 多比良卓志

「がんに関する講話」

講師 滋賀県健康づくり財団 専務理事 医師 水田和彦

スタッフ 保健師、管理栄養士、事務職

参加者数 7名

ii 滋賀県健康推進員団体連絡協議会リーダー研修会

日時 令和3年12月7日(火) 10:00 ~ 12:00

場所 滋賀県健康づくり財団 大会議室・多目的室

内容 「体力測定」

講師 滋賀県健康づくり財団 健康運動指導士 多比良卓志

「がんに関する講話」

講師 滋賀県健康づくり財団 専務理事 医師 水田和彦

スタッフ 保健師、管理栄養士、事務職

参加者数 25名

II. 滋賀県健康推進員団体連絡協議会への助成金の交付

滋賀県健康推進員団体連絡協議会との連携を密にしながら、地域への健康づくりの取り組みの拡大を支援するために健康づくり助成金の交付を行った。

・ 交付額 200,000円

・ 主な助成金交付対象事業

県民の健康づくりに関する事業

県民の健康づくりの指導者等を育成する事業

②市町・事業所への出前講座等

社会福祉法人滋賀同仁会での健康講座

社会福祉法人滋賀同仁会の職員に向けて健康講座を行った。

日時 令和3年11月5日(金) 13:30 ~ 14:40

場所 社会福祉法人滋賀同仁会

内容 「食中毒の予防について」(講話 50分)

講師 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 管理栄養士 松田桃子

参加者数 13名

③財団ホームページへの健康づくり情報の掲載(STAY HOME and Do Something)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、自宅で過ごす時間が増えたことから、健康づくりに役立つ情報として、運動不足解消や気分転換につながるエクササイズや栄養バランスを考えた簡単な料理レシピを「STAY HOME and Do Something」と題してホームページに掲載した。

- ・おうちでエクササイズ

 - 体幹・脚力・腹筋等を鍛える運動(12種類)

- ・おうちでクッキング

 - ごはん・おかず・お菓子等のレシピ(12種類)

④施設内健診受診者への情報提供

施設内健診受診者に対し、健康に関する情報提供として、「がん」、「がん検診」をテーマにしたリーフレットを作成し、配布した(1,319名)。

⑤健康しが企画室の主催する事業への参画

県庁健康寿命推進課健康しが企画室が主催されるイベントならびに会議に参画した。

第10回「健康しが」共創会議への参画

日時 令和3年10月19日(火) 14:00 ~ 16:30

場所 草津市立市民交流プラザ 大会議室(フェリエ南草津5階)
(滋賀県健康づくり財団よりオンライン参加)

内容 話題提供、グループワーク、参画団体からの情報提供

スタッフ 保健師、管理栄養士

参加者数 出席者 67名(集合参加 42名・オンライン参加 25名)

⑥その他

しがの健康づくりサポーターおよび健康おおつ21応援団として、財団施設内にステッカーや卓上旗の設置を行った。

- ・しがの健康づくりサポーターステッカー

 - 「禁煙・食生活・運動」

- ・健康おおつ21応援団

 - 「健康寿命を伸ばそう！みんなで取り組む生き生きと笑顔で暮らせる健康な街づくり」

3. 眼球、腎臓提供者の募集・登録、眼球幹旋などを通じ、眼や腎臓病の保健衛生の知識普及を始めとする臓器移植を推進する事業

- (1) 臓器移植コーディネーター設置および臓器移植キャンペーン事業
- (2) アイバンク事業
- (3) 腎臓バンク事業

3. 眼球、腎臓提供者の募集・登録、眼球幹旋などを通じ、眼や腎臓病の保健衛生の知識普及を始めとする臓器移植を推進する事業

(1) 臓器移植コーディネーター設置および臓器移植キャンペーン事業

滋賀県における臓器移植を推進するため、設置している臓器移植コーディネーターが広く県民に腎臓等臓器移植に関する正しい知識の普及啓発活動を行った。また、医療施設には、臓器提供に対する理解と協力を得て、臓器移植の円滑な実施を図るための体制づくり等について働きかけた。さらに、臓器移植提供者発生時は、円滑な臓器移植を推進するため家族等に対するインフォームドコンセントおよび関係機関等との連絡調整を実施した。

① 普及啓発

臓器移植キャンペーン事業とアイバンク、腎臓バンク事業の共通事業として、臓器移植普及推進月間(10月)を中心に啓発を行った。

I. 地域住民などへの啓発活動

i. 啓発資材等の配布

県内における保健所、市町、運転免許センター等の公共施設窓口にて意思表示カード付リーフレット等の設置や、啓発に協力していただけるよう県内 256 施設へ啓発資材等を配布した。

ii. 臓器移植普及推進キャンペーンの実施

・グリーンリボンドライバー普及啓発ステッカーの貼付依頼

一般社団法人滋賀県タクシー協会 約 1,200 枚

・FM ラジオ CM 放送による啓発

・エフエム滋賀

日時 令和3年10月1日(金) 午前1回、午後1回
令和3年10月15日(金) 午前1回、午後1回
令和3年10月16日(土) 午前1回、午後1回

内容 ラジオパーソナリティが1分間語り口調で、臓器移植キャンペーンの周知および臓器移植についての呼びかけを実施した。

・FM おおつ

日時 令和3年10月1日(金) 午前1回、午後1回
令和3年10月15日(金) 午前1回、午後1回
令和3年10月16日(土) 午前1回、午後1回

内容 放送日毎に作成したCMを放送し、臓器提供の意思表示および臓器提供について呼びかけを実施した。

・FM ラジオ番組による啓発

・FM おおつ

日時 令和3年11月27日(土) 午前1回
令和3年11月28日(日) 午後1回
令和3年12月4日(土) 午前1回
令和3年12月5日(日) 午後1回

内容 番組 「暮らしの話題」(臓器提供の意思表示、臓器提供の流れ、臓器提

供について)

出演 滋賀県健康づくり財団 滋賀県臓器移植コーディネーター
多比良卓志

・グリーンライトアップ

日時 令和3年10月16日(土) 日没 ~ 21:00

場所 彦根城天守

内容 彦根城天守をグリーンにライトアップし、より多くの県民に臓器移植について認知していただくとともに家族や大切な人と「移植」や「いのち」について話し合っていただく機会とすることを目的として「全国 GREEN LIGHT-UP Project」に参加した。

・県内保健所、市長、運転免許センター等 259 施設に対し、意思表示カード付きリーフレット等の啓発資材を配布した。

iii. 臓器移植希望者（レシピエント）への登録説明 3名（うち登録者0名）

II. 臓器提供に協力いただく施設の医療従事者との連携および体制整備の取組

i. 県内の脳死下臓器提供可能施設に設置された院内コーディネーターとの連携を図ることを目的として、院内コーディネーター連絡会（年2回）を開催した。

【第1回】

日時 令和3年8月26日(木) 14:00 ~ 16:00

場所 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 大会議室(オンライン開催)

内容 ①「移植医療の基礎知識と院内コーディネーターの役割」

②グループワーキング

「新型コロナウイルス感染症蔓延下での院内対応等について」

参加者数 オンラインで10箇所より接続

【第2回】

日時 令和4年2月2日(水) 14:00 ~ 16:00

場所 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 大会議室(オンライン開催)

内容 ①「ウィズコロナ 今求められるドナーアクションとは」

②「コロナ禍における脳死下臓器提供を決断する家族へのケア」

③報告「県内での取り組みについて」

参加者数 オンラインで7箇所より接続

ii. 臓器移植に関する正しい知識の普及啓発および脳死下臓器提供医療機関の体制整備推進を目的として、院内勉強会・院内シミュレーションを実施した。（日本臓器移植ネットワーク都道府県支援事業含む）

・滋賀医科大学医学部附属病院 院内研修会

日時 令和3年10月15日(月) 17:30 ~ 19:00

内容 「子どもの脳死下臓器提供と終末期医療」

参加者数 41名(滋賀医科大学医学部附属病院関係者、学生)

②臓器提供発生時業務

臓器提供発生時には日本臓器移植ネットワーク西日本支部と連携し、臓器提供の円滑な実施に向け、以下の業務を行った。

I. 臓器提供者の適応を確認するとともに、臓器提供について申し出があった家族に対し説明を行い、意思確認を行った。

II. 情報発生施設に対して、円滑な実施に向けて説明や調整を行った。臓器摘出に係る検査や搬送の手配および関係機関等への連絡調整を実施した。

○令和3年度臓器提供実績

・第819例目脳死下臓器提供(提供臓器：心臓、肺、肝臓、膵臓、腎臓)

③症例対応後業務

I. 遺族に対し、感謝状の贈呈、移植患者の経過報告等を遺族希望に応じて実施した。

II. 情報提供施設の関係部署へ定期的に移植後の経過・ご家族の様子を報告した。

(2) アイバンク事業

善意の眼球提供により、視力障害者の視力の回復に資するため、眼球提供者の募集・提供登録者の拡大を図るとともに、提供眼球の斡旋を行った。また、県民の献眼に関する正しい知識の普及啓発を行い協力を広げることを目的に、関係機関、関係団体等の支援および協力を得て事業を展開した。

①眼球提供者の募集および登録

眼球の提供登録を推進するため、眼球提供申込書等を県内関係行政機関、各市町、関係諸団体に配置するとともに協力を依頼し、広く善意による眼球提供者登録を行った。

令和3年度登録者 15名

実登録者数 6,247名

表1 アイバンク登録者実績表

	平成29年度	平成30年度	平成31 (令和元)年度	令和2年度	令和3年度
登録者数	40	51	64	9	15
実登録者数	6,365	6,358	6,346	6,292	6,247

②眼球の摘出・斡旋

I. 角膜移植待機者の把握

県下の移植医療機関4病院における移植待機者数0名

II. 眼球の摘出・斡旋

令和3年度斡旋眼球実績

献眼1名、摘出眼球2眼、斡旋眼球2眼

斡旋眼球実績累計(昭和59年度～令和3年度分)

献眼 168名

摘出眼球 324眼

斡旋眼球 273眼

斡旋先 151眼(県内)、122眼(県外)

③啓発事業の実施

眼に関する正しい保健衛生思想の普及と眼球の提供登録の呼びかけなど、臓器移植推進月間(10月)を中心に啓発活動の推進に努めた。

I. 啓発資料の配布

配布資料 啓発用パンフレット（腎・アイバンクだより、寄付金、賛助会員募集チラシ）等
配布先 県内各関係行政機関、各関係医療機関、ライオンズクラブ、看護学校、大学等

II. 臓器移植普及推進キャンペーンの実施

III. 献眼登録者へ機関紙「腎・アイバンクだより」、「寄付金、賛助会員募集」のチラシおよび機関誌「愛の光」の配布

⑤財政基盤の強化等

支援団体であるライオンズクラブとの連携を基に、新規会員の確保と会費収入の増収に努めた。

賛助会費収入（法人・個人会員）	242,000 円（22 件）
寄付金	188,267 円（54 件）
助成金 アイバンク愛の光基金	901,020 円
日本アイバンク協会	70,270 円
合 計	1,401,557 円

(3) 腎臓バンク事業

腎不全患者の機能回復に資するため、腎臓移植の推進に向け、死後の腎臓提供者の登録の拡大を図るとともに、県民の腎臓病に関する正しい知識の普及啓発を行い、献腎への理解、協力を求めた。また、腎臓移植希望患者等に対する経費助成を行った。これらの事業にあたっては、日本臓器移植ネットワークとの連携や関係機関、関係団体等の支援および協力を得て推進・展開した。

①死体腎提供者の募集および登録

死体腎の提供登録を推進するため、腎臓提供申込書等を県内関係行政機関、各市町、関係諸団体に配置するとともに協力を依頼し、広く善意による腎臓提供者登録を行った。

令和3年度登録者	11 名
実登録者数	3,107 名
移植希望者	67 名（令和3年12月31日現在）

表1 腎臓バンク登録者実績表

	平成29年度	平成30年度	平成31 (令和元)年度	令和2年度	令和3年度
登録者数	30	28	26	9	11
実登録者数	3,122	3,134	3,127	3,121	3,107
移植希望者数	65	56	64	64	67

②腎臓移植に係る組織適合性検査への助成

I. 腎臓移植希望待機者の組織適合検査に対する助成

令和3年度助成実績数 0件

II. 滋賀県内における死体腎摘出チームおよび死体腎提供施設に対する助成（摘出腎が使用不可能な場合のみ助成）

令和3年度助成実績数 0件

③啓発事業の実施

腎臓病に関する保健衛生思想の普及と腎臓提供登録の呼びかけなど、臓器移植推進月間（10月）を中心に啓発活動の推進に努めた。

I. 啓発資料の配布

配布資料 啓発用パンフレット（腎・アイバンクだより、寄付金・賛助会員募集チラシ）等

配布先 県内各関係行政機関、各関係医療機関、ライオンズクラブ、看護学校、大学等

II. 臓器移植普及推進キャンペーンの実施

III. 献腎登録者への機関紙「腎・アイバンクだより」、「寄付金・賛助会員募集」のチラシの配布

④財政基盤の強化等

賛助会費制度の理解と新規会員の確保と会費収入の増収に努めた。

賛助会費収入（法人・個人会員） 267,000円（23件）

寄付金 100,500円（38件）

合計 367,500円

4. 県・市町・関係団体等との連携により、地域福祉・医療等を
充実補完する事業

- (1) 療養所入所者一時帰省招待およびハンセン病啓発事業
- (2) 母子保健関連推進事業
- (3) 医師会健診データ電子化事業

4. 県・市町・関係団体等との連携により、地域福祉・医療等を充実・補完する事業

(1) 療養所入所者一時帰省招待およびハンセン病啓発事業

療養所に入所している本県出身者を一時帰省招待するため、本事業を実施した。また、ハンセン病に関する正しい理解と認識を得るため、講演会の開催や、リーフレットによる啓発および現地学習会を実施した。

①一時帰省招待事業

I. 療養所訪問

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止

II. 里帰り

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、帰省者なし

②ハンセン病啓発事業

I. ハンセン病を正しく理解するための啓発講演会の開催

【1回目】

日時 令和3年7月26日(月) 13:30～15:00

場所 彦根総合高等学校

内容 「いっしょに考えようハンセン病問題」

講師 社会福祉法人恩賜財団済生会支部大阪府済生会
ハンセン病回復者支援センター 井ノ山奈津子 氏

「山城物語」

講師 ハンセン病関西退所者原告団いちょうの会 山城清重 氏

参加者数 湖東地域の人権指導者担当者 14名

【2回目】

日時 令和3年8月1日(木) 14:00～16:30

場所 セミナー&カルチャーセンター臨湖・多目的ホール

内容 テーマ「コロナ」と人権 フォーラム滋賀

「『コロナ』から1年、何が残ったか」

講師 湖北じんけんネットワーク 田邊 九二彦 氏

「B型C型肝炎 病気と人権」

講師 元滋賀県人権センター職員 田中 守 氏

「相談・啓発の活動を通じて考えたこと…」

講師 部落差別解消のための啓発を考える会草津 杉江 範昭 氏

「変わらない現実思うこと」

講師 特定非営利法人ヒューマンネット滋賀 山崎 真由子 氏

「ハンセン病回復者と家族の訴え」

講師 ハンセン病関西退所者原告団いちょうの会 A 氏

参加者数 一般市民、人権啓発担当者等 45名
(うちオンライン参加者は10名)

II. ハンセン病問題に関する現地学習会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、現地学習会中止。

III. ハンセン病啓発用リーフレットの作成および配布

作成数 12,000部

配布先 県内中・高・大学校、県内各市町人権担当課、啓発講演会等

(2) 母子保健関連推進事業

①母子健康手帳別冊作成事業

妊婦と乳幼児の健康管理・保健指導の充実を図ることを目的に、県・市町の保健師等を交え、内容を精査検討し、県下統一の「母子健康手帳別冊」を作成し、配布した。

表1 令和3年度分母子健康手帳別冊作成実績表

市町名	母子健康手帳別冊	市町名	母子健康手帳別冊
彦根市	950	高島市	320
長浜市	1,000	東近江市	1,100
近江八幡市	700	米原市	330
草津市	1,500	日野町	180
守山市	900	竜王町	95
栗東市	1,100	愛荘町	220
野洲市	530	豊郷町	80
甲賀市	700	甲良町	40
湖南市	500	多賀町	65
		合計	10,310

②妊婦委託健康診査費支払協力事業（市町委託事業）

滋賀県下の市町では、県内に居住し、市町から母子手帳の交付を受けている妊婦を対象に、その健康管理の向上と健康診査の一層の徹底を図るため、市町の委託医療機関において、妊婦の健康診査が実施されている。妊婦一般健康診査については1人につき14回以内（多胎妊婦については、最大19回）とし、超音波検査は1人につき4回（多胎妊婦については、最大6回）としている。その他、血液検査は妊娠初期・中期・後期と検査時期の目安をもうけ、各1回ずつ、子宮頸がん検査・B群溶血性レンサ球菌検査（GBS）・クラミジア検査についても、1人1回としている。新生児聴覚検査は、19市町で実施している。

また、妊婦がやむを得ない理由により県外の医療機関で妊婦一般健康診査を受けた場合、

これらの費用の償還払いが行われている。

当財団では、妊婦委託健康診査事業費等支払業務の円滑な推進のため、市町が医療機関に委託して行う妊婦健康診査費用の請求にかかる請求書受理、仕分、点検および支払事務に関する業務を実施した。

表 1 妊婦委託健康診査事業費等支払業務実績表

(枚)

	基本健診	超音波	血液初期	血液中期	血液後期	子宮頸がん	GBS	クラミジア	新生児聴覚	市町の合計
大津市	29,726	9,398	2,327	2,298	2,102	2,299	2,195	2,348	2,168	54,861
草津市	13,737	4,267	1,112	1,070	989	1,098	1,055	1,105	1,038	25,471
守山市	9,345	2,955	795	735	651	795	695	720	672	17,363
栗東市	9,324	2,910	755	751	666	743	703	736	688	17,276
近江八幡市	7,857	2,474	650	585	525	647	588	598	614	14,538
日野町	1,599	488	125	123	117	124	111	134	126	2,947
竜王町	829	257	65	68	58	65	59	64	75	1,540
彦根市	9,187	2,854	751	728	629	745	686	756	725	17,061
豊郷町	503	155	39	43	34	38	37	37	37	923
甲良町	335	114	30	27	26	30	27	30	24	643
多賀町	651	206	48	55	44	48	53	45	52	1,202
長浜市	8,467	2,779	735	684	594	734	676	676	714	16,059
湖南市	4,495	1,384	349	342	322	347	330	353	349	8,271
野洲市	4,648	1,433	373	366	343	369	335	347	338	8,552
甲賀市	6,956	2,130	573	524	504	565	510	549	537	12,848
東近江市	9,836	3,072	804	765	666	781	714	783	764	18,185
高島市	1,547	516	139	117	104	139	104	140	110	2,916
米原市	2,662	856	222	215	184	220	216	214	225	5,014
愛荘町	2,005	611	166	155	145	164	141	166	168	3,721
合計	123,709	38,859	10,058	9,651	8,703	9,951	9,235	9,801	9,424	229,391

(3) 医師会健診データ電子化事業（滋賀県医師会委託事業）

厚生労働省では生活習慣病の有病者及び予備群が増加傾向にあることから平成 20 年度に医療制度改革を実施し、医療保険者による特定健康診査、後期高齢者健康診査を開始した。

滋賀県医師会では県内全域の医療機関で特定健康診査、後期高齢者健康診査が受診できるよう医療保険者代表者と集合契約を締結した。

しかし、集合契約では各医療機関が独自に支払代行機関への電子化請求、および結果通知表作成を実施する必要があるため、健康診査を実施しない医療機関が増え滋賀県民の受診機会（受診率）が減少することが危惧された。

そのために、平成 20 年度より当財団が電子化請求代行業務、および結果通知表作成業務を受託することになった。そのことにより県内医療機関での特定健康診査（後期高齢者健康診査）が実施可能となり、滋賀県民の受診機会を損なわないようサービスを提供し続けている。

令和 3 年度は 511 医療機関より 57,756 件の電子化依頼があり、前年より 1,333 件増加した。

主な業務内容

滋賀県医師会発行「特定健康診査等実施の手引き」の一部原稿作成、校正
記入用OCR帳票の作成（電子化依頼書・特定健診受診票）

記入内容のチェック

結果通知表の作成

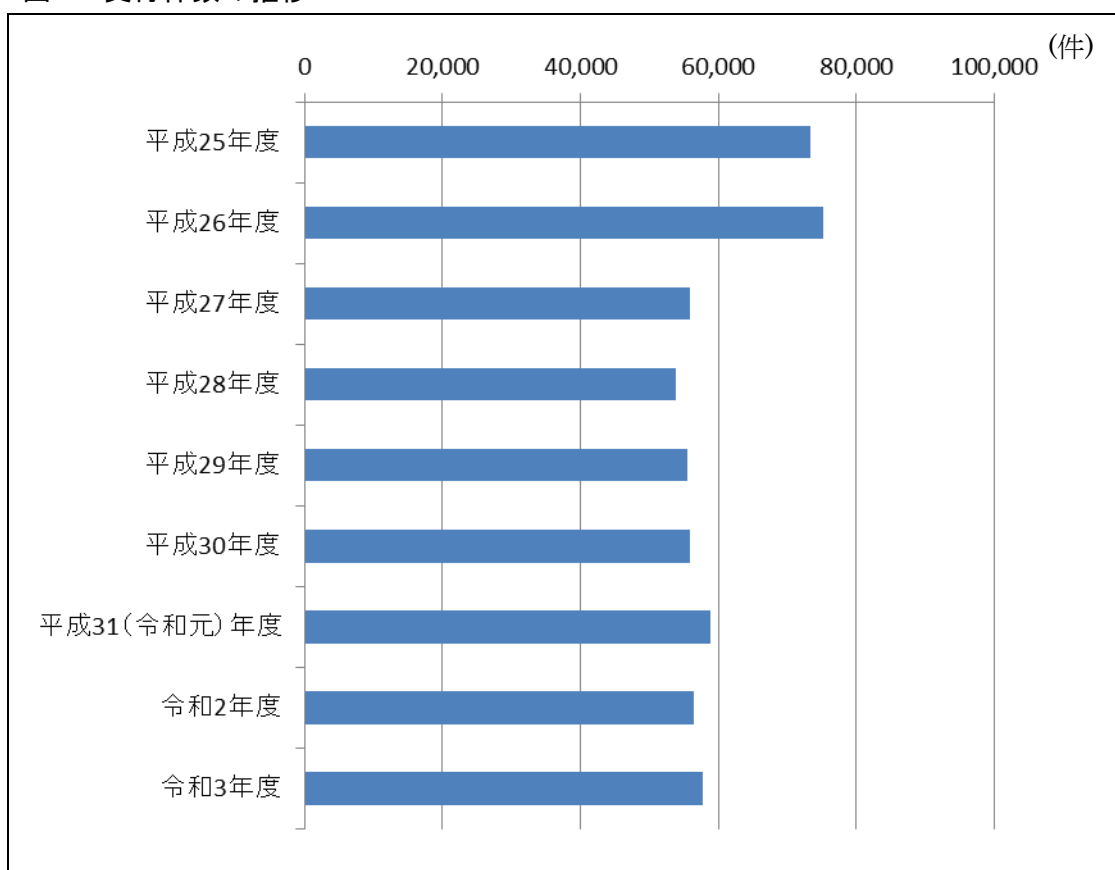
支払代行機関への請求代行

医療機関からの問い合わせ対応

表 1 電子化依頼受付件数(医療機関数)の推移

	受付医療機関数	受付件数
平成 25 年度	524 機関	73,333 件
平成 26 年度	526 機関	75,215 件
平成 27 年度	525 機関	55,957 件
平成 28 年度	520 機関	53,931 件
平成 29 年度	513 機関	55,508 件
平成 30 年度	518 機関	55,857 件
平成 31 (令和元) 年度	516 機関	58,782 件
令和 2 年度	515 機関	56,423 件
令和 3 年度	511 機関	57,756 件

図 1 受付件数の推移



5. その他財団の目的を達成するために必要な事業

- (1) 結核予防会滋賀県支部事業
- (2) 日本対がん協会滋賀県支部事業
- (3) 個人情報取り扱いを適切に行う体制整備事業

5. その他財団の目的を達成するために必要な事業

(1) 結核予防会滋賀県支部事業

財団法人結核予防会が設立されたのは昭和 14 年 5 月 22 日である。当時の結核で死亡する者は 10 数万人を超え、死亡原因の首位を占めていた。また、死者・患者とも青年層に多く亡国病と呼ばれていた。この状態を深く憂慮された昭和の皇后陛下の令旨によるものである。

滋賀県支部の設立は昭和 15 年 3 月 26 日であり、滋賀県厚生部医務予防課に事務所を置いていた。昭和 55 年 4 月 1 日に財団法人結核予防会滋賀県支部と滋賀県公衆衛生協会と統合し、財団法人滋賀県保健衛生協会として発足し、その事業として結核予防会滋賀県支部事業を行ってきた。

結核予防会本部においては平成 22 年度、当財団においては平成 24 年度に公益財団法人へ移行し、引き続き全国組織である結核予防会の支部としての事業を行っている。

①第 73 回結核予防全国大会（オンライン開催）

I. 開催期日

令和 4 年 3 月 8 日(火)

II. 開催場所

東京都：発信拠点 リーガロイヤルホテル東京

III. 主催

公益財団法人結核予防会

②結核予防会近畿ブロック会議（オンライン開催）

I. 開催期日

令和 3 年 11 月 10 日(水)

II. 当番府県

和歌山県（公益財団法人和歌山県民総合健診センター）

③結核予防婦人団体への助成

結核予防婦人団体である公益社団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会の滋賀県支部は、滋賀県地域女性団体連合会である。同連合会が結核予防をはじめ、県民の健康づくりの向上を図るために、連絡協議会の年会費や会員が参加する研修等に助成を行っている。

主な研修会等

- ・第 26 回結核予防関係婦人団体中央講習会（オンライン開催：東京都：発信拠点 KKR ホテル東京）
- ・第 73 回結核予防会全国大会（熊本県：ホテル日航熊本）※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止（オンライン開催：発信拠点 リーガロイヤルホテル東京）

(2) 日本対がん協会滋賀県支部事業

がんは昭和 56 年に死亡原因の第一位となり現在に至っている。財団法人滋賀県対ガン協会が設立されたのは昭和 36 年 4 月であり、滋賀県厚生部医務予防課に事務所を置き、財団法人日本対がん協会滋賀県支部も兼ねていた。昭和 55 年 4 月 1 日に財団法人滋賀県対ガン協会と

滋賀県公衆衛生協会と統合し、財団法人滋賀県保健衛生協会として発足し、がん征圧推進母体としてがん予防にかかる正しい知識の普及啓発、健診活動を行ってきた。

日本対がん協会本部においては平成 22 年度、当財団においては平成 24 年度に公益財団法人へ移行し、引き続き全国組織である日本対がん協会の支部としての事業を行っている。

①令和 3 年度がん征圧全国大会（オンライン開催）

I. 開催期日

令和 3 年 9 月 7 日(火) ～ 9 月 8 日(水)

II. 開催場所

発信拠点 宮崎県健康づくり協会

III. 主催

公益財団法人日本対がん協会

IV. 大会テーマ内容

「日本のひなた宮崎から「ひなたのチカラ」でがん征圧」

V. 内容

・令和 3 年 9 月 7 日(火)

がん征圧全国大会記念セミナー テーマ「子宮頸がん」

鹿児島大学院医歯総合研究科 生殖病態理学産婦人科 教授 小林 裕明 氏

・令和 3 年 9 月 8 日(水)

表彰式典、がん征圧全国大会記念シンポジウム

VI. 参加者

国、都道府県、市町村の保健・医療関係者

日本対がん協会各都道府県支部

その他の保健・医療関係者、一般県民など

②日本対がん協会近畿ブロック会議

I. 開催期日

令和 3 年 10 月 19 日(火)

II. 開催場所

発信拠点 公益財団法人滋賀県健康づくり財団小会議室

III. 当番府県

滋賀県（公益財団法人滋賀県健康づくり財団）

(3) 個人情報の取り扱いを適切に行う体制整備事業

令和 3 年度は、平成 28 年 9 月から運用を開始している、個人情報保護マネジメントシステム（PMS）の適正な運用のため、従業員の教育・内部監査・PMS の見直しを実施した。

また、一般財団法人日本情報経済社会推進協会（J I P D E C）が PMS とその運用が適正であることを評価し、その証として付与する「プライバシーマーク」の認定更新にかかる申請を行い、令和 4 年 3 月に更新認証を取得した。

『主な実施内容』

令和3年11月	PMS委員会の開催
令和4年1月	従業者への教育実施
令和4年1月	プライバシーマーク現地審査
令和4年2月	内部監査
令和4年3月	マネジメントレビュー

6. 精度管理

(1) 内部精度管理

(2) 外部精度管理

6. 精度管理

(1) 内部精度管理

①細胞診断の精度管理

- ・偽陽性以上検体のダブルチェック
- ・陰性症例 10%をダブルチェック

②X線画像の精度管理

- ・「滋賀県健康づくり財団検診画像検討会」で、外部専門医師（放射線医）が検診画像、読影について評価、検討

③胃がん検診

- ・胃がん検診専門技師認定者（5名）による撮影
- ・胃がん検診専門認定医師認定者（6名）による読影

④乳がん検診

- ・マンモグラフィ技術試験評価での A、B 認定資格者（3名）による撮影
- ・マンモグラフィ読影試験評価での A、B 認定資格者（5名）による二重読影

(2) 外部精度管理

①一般健診（血液・尿等）

- ・公益社団法人滋賀県臨床検査技師会の精度管理
A 評価（一部 B 評価あり）

②一般健診（計測）

- ・一般社団法人滋賀県計量協会 特定計量器定期検査

③胸部画像（結核健診・肺がん検診）

- ・結核予防会胸部画像評価会精度管理研究会 画像評価 B 判定（読影に適している）

④胃がん検診

- ・日本対がん協会診療放射線技師研修会画像評価実施（読影に適している）

⑤乳がん検診

- ・公益財団法人日本乳がん検診精度管理中央機構 マンモグラフィ検診施設画像認定を取得

⑥細胞検査（子宮頸がん検診・肺がん検診）

- ・日本臨床細胞学会の精度管理に関わる施設認定を取得
- ・精度管理細胞部会の症例問題フォトサーベイに参加

7. その他の活動記録

(1) 沿革

(2) 役員会の開催状況

(3) 年間行事

(4) 出席した主な会議、学会、研究会および研修会等

(5) 学会等の研究発表

7. その他の活動記録

(1) 沿革

昭和 55 年 4 月 財団法人滋賀県保健衛生協会設立

(財)結核予防会滋賀県支部(昭15年・設立)、(財)滋賀県対ガン協会(昭34年・設立)および滋賀県公衆衛生協会(昭34年・設立)の事業を継承する。

昭和 56 年 8 月 事務所を移転(滋賀県大津市におの浜4丁目4-5)

平成 15 年 4 月 財団法人滋賀県健康づくり財団に名称変更

(財)滋賀県アイバンクと(財)滋賀県腎臓バンクを(財)滋賀県健康づくり財団に統合。

平成 24 年 4 月 公益財団法人滋賀県健康づくり財団に移行

平成 27 年 11 月 現在地に事務所を移転(滋賀県大津市御殿浜6番28号)

(2) 役員会の開催状況

①理事会(第45回:決議の省略)

日時 令和3年5月14日(金)

回答理事 8人

回答監事 2人

議題

- ・議題3-1号

公益財団法人滋賀県健康づくり財団 理事の候補者について

- ・議題3-2号

公益財団法人滋賀県健康づくり財団 第25回評議員会の招集について

②評議員会(第25回:決議の省略)

日時 令和3年5月21日(金)

回答評議員 9人

議題

- ・議評第3-1号

公益財団法人滋賀県健康づくり財団 理事の選任について

③監査会

日時 令和3年5月25日(火) 13:55 ~ 14:47

場所 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 大会議室

出席監事 2人

内容 令和2年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団 事業報告(案)について令和2年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団 決算報告(案)について
その他

④理事会(第46回)

日時 令和3年5月31日(月) 13:57 ~ 14:53

出席理事 6人

出席監事 1人

議題

- ・議第3-3号
令和2年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団 事業報告(案)について
- ・議第3-4号
令和2年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団 決算(案)について
- ・議第3-5号
公益財団法人滋賀県健康づくり財団 第26回評議員会の招集について

⑤評議員会(第26回)

日時 令和3年6月17日(木) 13:53 ~ 14:36

出席評議員 6人

出席監事 2人

議題

- ・議評第3-2号
令和2年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団 決算(案)について

⑥理事会(第47回:決議の省略)

日時 令和3年7月2日(金)

回答理事 8人

回答監事 2人

議題

- ・議第3-6号
公益財団法人滋賀県健康づくり財団 評議員の候補者について
- ・議第3-7号
公益財団法人滋賀県健康づくり財団 第27回評議員会の招集について

⑦評議員会(第27回:決議の省略)

日時 令和3年7月9日(金)

回答評議員 9人

回答監事 2人

議題

- ・議評第3-3号
公益財団法人滋賀県健康づくり財団 評議員の選任について

⑧理事会(第48回)

日時 令和4年3月28日(月) 13:55 ~ 15:15

出席理事 6人

出席監事 2人

議題

- ・議第3-8号

令和3年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団 収支補正予算(案)について

・議第3-9号

令和3年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団 資金調達及び設備投資の見込み変更(案)について

・議第3-10号

令和4年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団 事業計画(案)について

・議第3-11号

令和4年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団 収支予算(案)について

・議第3-12号

令和4年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団 資金調達及び設備投資の見込み(案)について

・議第3-13号

公益財団法人滋賀県健康づくり財団 組織規則の一部改正(案)について

・議第3-14号

公益財団法人滋賀県健康づくり財団 理事の候補者について

・議第3-15号

令和4年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団 常勤役員の月額報酬等の額の決定について

・議第3-16号

公益財団法人滋賀県健康づくり財団 第28回評議員会の招集について

⑨評議員会(第28回:決議の省略)

日時 令和4年3月31日(木)

回答評議員 9人

議題

・議評第3-4号

公益財団法人滋賀県健康づくり財団 理事の選任について

(3) 年間行事.

年 月 日	内 容
令和3年4月～令和4年3月	子宮頸がん・乳がん無料検診プレゼント
令和3年4月13日	第1回がん出張セミナー・健康講座
令和3年6月3日	第1回乳がん患者の集い
令和3年7月16日	第1回滋賀県がん対策推進運動実行委員会
令和3年7月26日	第1回ハンセン病を正しく理解するための啓発講演会
令和3年7月29日	特定健診・特定保健指導実践者育成研修1日目
令和3年8月1日	第2回ハンセン病を正しく理解するための啓発講演会
令和3年8月1日～9月30日	結核予防週間啓発活動 (FM ラジオ CM 放送)
令和3年8月2日	結核予防週間啓発活動 (中條滋賀県副知事への表敬訪問)
令和3年8月3日	がん検診検討会 部会長会議
令和3年8月18日	特定健診・特定保健指導実践者育成研修2日目
令和3年8月25日	第2回がん出張セミナー
令和3年8月26日	第1回臓器移植院内コーディネーター連絡会
令和3年9月～10月	がん検診受診啓発広告プロジェクト(テレビCMでの啓発)
令和3年9月～10月	がん検診受診啓発広告プロジェクト(防災ハンドブックの広告欄掲載)
令和3年9月2日	特定健診・特定保健指導実践者育成研修3日目
令和3年9月10日	がん検診受診啓発広告プロジェクト (びわ湖放送 生放送番組での啓発)
令和3年9月11日～10月10日	セルフリレーウォーク
令和2年9月14日	特定健診・特定保健指導実践者育成研修4日目
令和3年9月27日	がん対策活動団体情報交換会
令和3年10月1日、15～16日	臓器移植普及推進キャンペーン (FM ラジオ CM 放送)
令和3年10月15日	滋賀医科大学医学附属病院院内研修会
令和3年10月16日	臓器移植普及推進キャンペーン (グリーンライトアップ)
令和3年10月16日～10月25日	リレー・フォー・ライフ・ジャパンしが2021
令和3年10月17日	第1回びわ湖乳がん啓発ウォーク
令和3年11月5日	第3回がん出張セミナー
令和3年11月9日	がん検診検討会 胃がん部会
令和3年11月14日	第2回びわ湖乳がん啓発ウォーク
令和3年11月18日	がん検診検討会 乳がん部会
令和3年11月27日、28日 12月4日、5日	臓器移植普及推進キャンペーン (FM ラジオ番組)
令和3年12月1日	がん検診検討会 子宮頸がん部会
令和3年12月6日	第4回がん出張セミナー
令和3年12月12日	第1回肺がん検診従事者講習会
令和3年12月16日	がん検診検討会 肺がん部会
令和4年1月15日	子宮頸がん検診従事者講習会
令和4年1月26日	がん検診検討会 大腸がん部会

令和4年2月2日	第2回臓器移植院内コーディネーター連絡会
令和4年2月16日	第52回滋賀県公衆衛生学会
令和4年2月19日	消化器(胃)がん検診従事者講習会
令和4年2月19日	乳がん検診従事者講習会
令和4年3月3日	第2回乳がん患者の集い
令和4年3月6日	第2回肺がん検診従事者講習会
令和4年3月7日	第2回滋賀県がん対策推進運動実行委員会
令和4年3月15日	結核予防事業協賛秩父宮記念杯 複十字シール募金活動

(4) 出席した主な会議、学会、研究会および研修会等

年 月 日	内 容
令和3年5月26日～5月28日	2021年度B級コーディネーター研修会（日本臓器移植ネットワーク）【オンライン開催】
令和3年6月15日	第62回日本臨床細胞学会総会春期大会【オンライン開催】
令和3年6月27日	健康運動指導士 更新必修講座（京都府）
令和3年7月1日	2021年度全国都道府県臓器移植コーディネーター連絡会議（日本臓器移植ネットワーク）【オンライン開催】
令和3年7月31日	2021年度保険指導担当者研修会<初任者研修>【オンライン開催】
令和3年8月26日	JIPDEC 認定個人情報保護団体対象事業者向け説明会【オンライン開催】
令和3年9月7日	2021年度がん征圧全国大会【オンライン開催】
令和3年9月13日	令和3年度複十字シール運動担当者会議【オンライン開催】
令和3年10月19日	日本対がん協力近畿ブロック会議【オンライン開催：財団主催】
令和3年11月4日	草津胃がん検診精度管理委員会【オンライン開催】
令和3年11月6日	からだ健やか講座～障害のある人へのスポーツ指導～（京都府）
令和3年11月10日	結核予防会近畿ブロック会議【オンライン開催】
令和3年11月12日～11月13日	第47回院内コーディネーター研修会（日本臓器保存生物保存医学界）【オンライン開催】
令和3年11月17日	JATA 災害時支援協力者研修【オンライン開催】
令和3年12月9日	第60回日本臨床細胞学会秋期大会【オンライン開催】
令和3年12月10日、12月17日	滋賀県産業保健総合支援センター看護職・衛生管理者対象研修（大津市）
令和3年12月15日	令和3年度結核予防会診療放射線技師協議会全国幹事会【オンライン開催】
令和3年12月17日	第1回臓器提供について考えるコーディネーターワークショップ（日本臓器移植ネットワーク）【オンライン開催】
令和4年1月11日	草津市肺がん検診精度管理委員研修会（草津市）
令和4年1月19日、31日、2月7日	滋賀県栄養士会生涯教育研修会【全てオンライン開催】
令和4年1月22日	第50回日本消化器がん検診学会近畿地方会・第31回保健衛生研修会【オンライン開催】

令和4年1月29日～1月30日	2021年度第2回日本組織移植学会セミナー（日本組織移植学会）【オンライン開催】
令和4年2月12日	草津市肺がん検診精度管理委員会【オンライン開催】
令和4年2月19日～2月20日	西日本組織移植NWコーディネーター研修会（西日本組織移植ネットワーク）【オンライン開催】
令和4年2月23日～2月25日	第55回日本臨床腎移植学会（日本臨床腎移植学会）【オンライン開催】
令和4年2月25日	全国アイバンク連絡協議会（日本アイバンク協会）【オンライン開催】
令和4年3月4日	2021年度全国都道府県コーディネーター連絡会議（日本臓器移植ネットワーク）【オンライン開催】
令和4年3月8日	第73回 結核予防会 全国大会【オンライン開催】
令和4年3月8日	日本消化器がん検診学会 超音波研修会【オンライン開催】
令和4年3月16日～3月17日	令和3年度日本対がん協会・結核予防会共催 診療放射線技師研修会【オンライン開催】

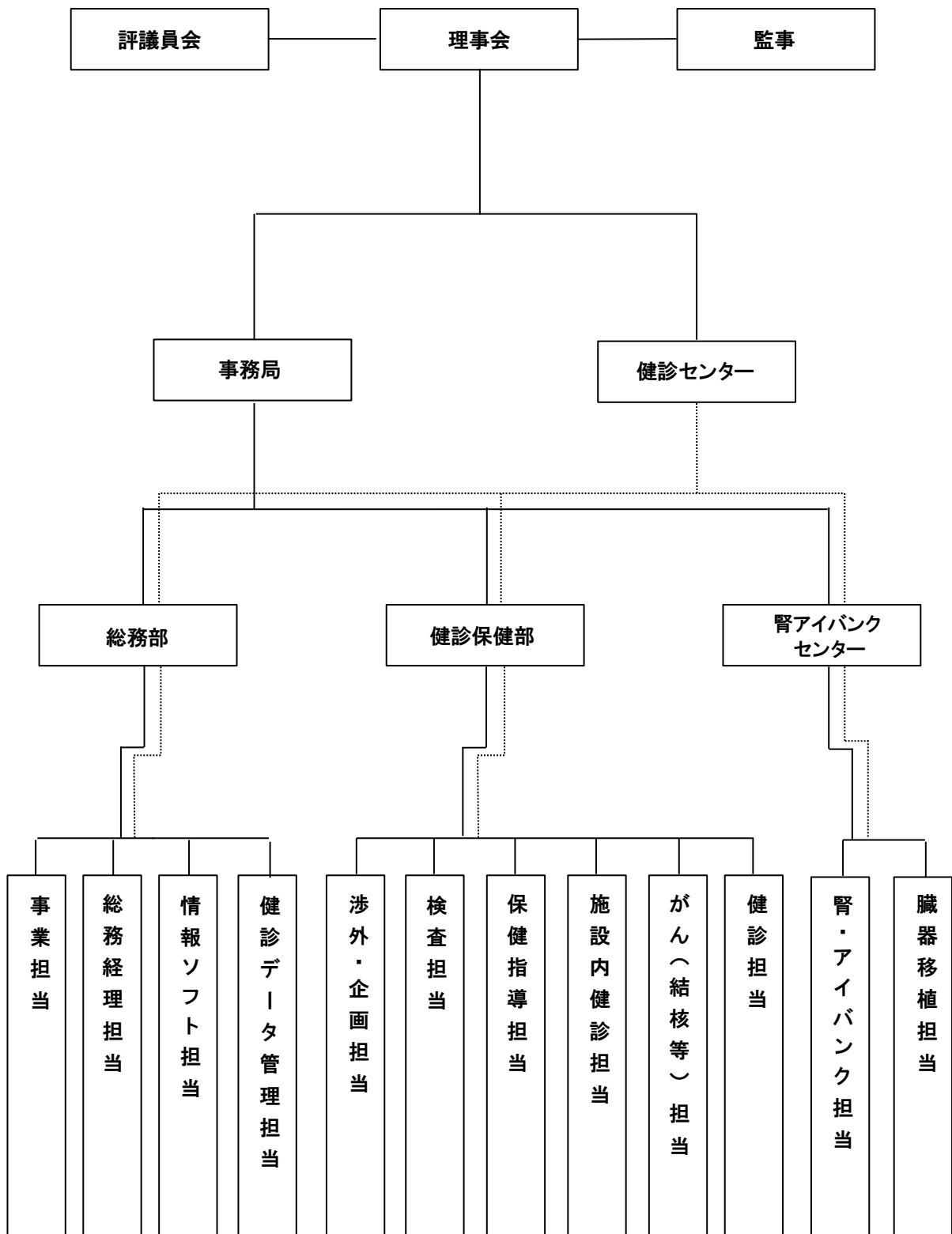
8. 組織、役員名簿

(1) 組織

(2) 役員名簿

8. 組織、役員名簿

(1) 組織



(2) 役員名簿

令和3年度

役員の別	氏名	就任年月日	備考
理事長	中 井 清	平成30年4月1日	
副理事長	越 智 眞 一	平成30年5月9日	
専務理事	水 田 和 彦	平成29年4月1日	
理事	市 川 忠 稔	令和3年4月1日	
理事	岩 永 裕 貴	令和元年5月24日	令和3年5月20日退任
理事	佐 藤 健 司	令和3年5月20日	
理事	石 川 浩 三	平成26年6月5日	
理事	野 村 京 子	平成26年6月5日	
理事	武 田 千 洋	令和3年4月1日	
評議員	切 手 俊 弘	令和2年4月1日	
評議員	伊 藤 定 勉	平成26年1月31日	
評議員	小 西 眞	平成30年5月2日	
評議員	荒 木 勇 雄	平成30年6月14日	
評議員	平 尾 勝 代	令和元年5月24日	令和3年7月8日退任
評議員	小 川 靖 子	令和3年7月9日	
評議員	古 山 忠 宏	平成30年6月14日	
評議員	大 本 和 由	令和2年6月15日	
評議員	山 本 章	令和2年6月15日	
評議員	青 木 隆 三	平成26年7月30日	
監事	円 水 成 行	平成24年4月1日	
監事	徳 永 博 史	平成24年4月1日	

令和3年度 事業年報

発行日：令和5年3月

発行者：公益財団法人滋賀県健康づくり財団

〒520-0834 大津市御殿浜6番28号

TEL：077-536-5210（代）

FAX：077-536-5211